

# 第13回廃棄物学会研究発表会 参加案内

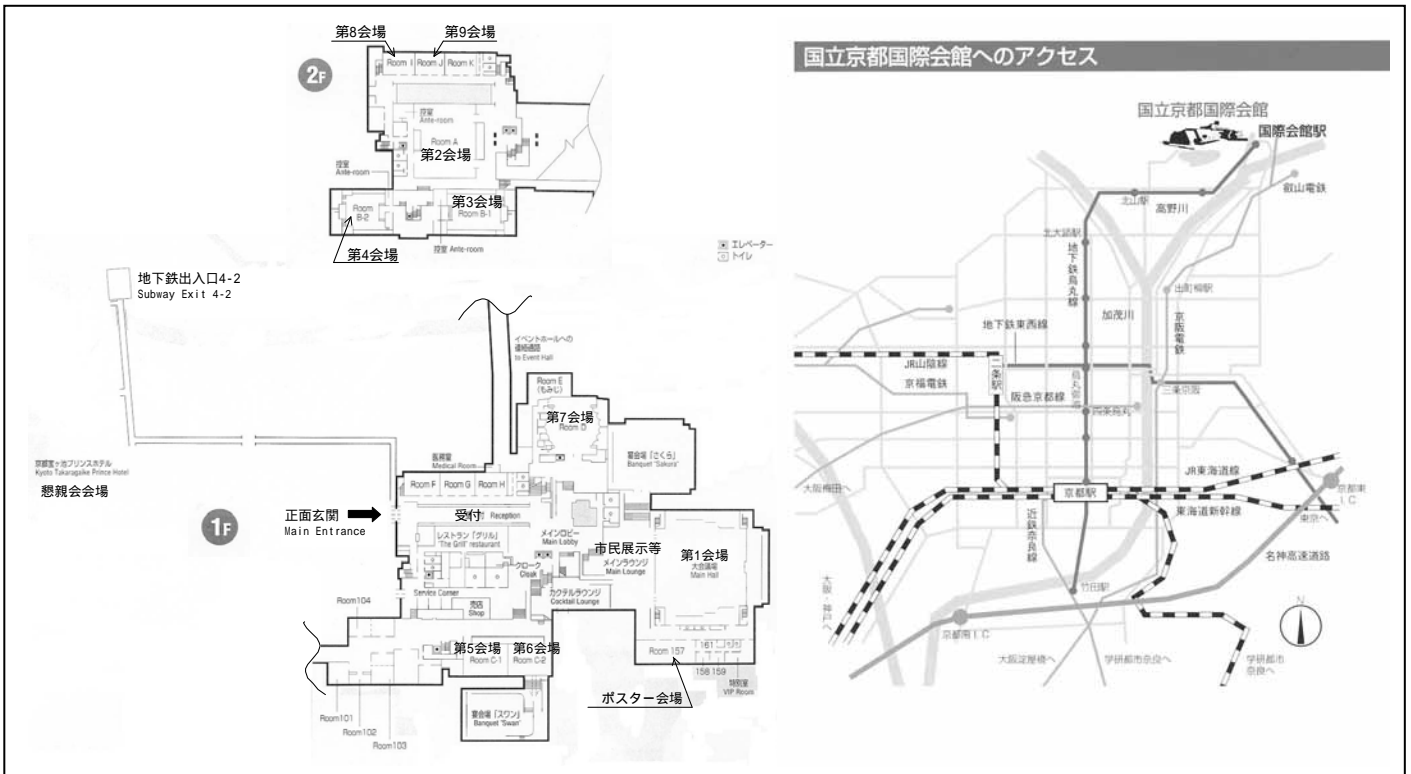
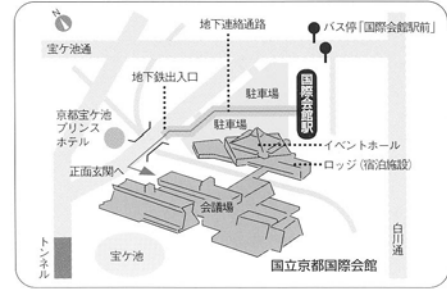
11月28日(木) ~ 11月30日(土)

1. 開催期日：2002年11月28日(木) ~ 11月30日(土)
2. 会場：国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

## 【会場へのアクセス】

地下鉄烏丸線「国際会館」下車、地下鉄出入口4-2

## ●地下鉄「国際会館」駅からのアクセス



## 3. 参加申込方法

1) 事前申込(論文集事前送付希望者)：今回より事前申込は論文集事前送付希望者のみ(送料受取人払い)となりました。同封の論文集事前送付申込書に漏れなく記入の上、廃棄物学会事務局までFAX又は郵送すると同時に参加費を下記振込先へ振り込んで下さい(申込書の送付は振込作業より先に行ってください)。入金を確認し、登録完了後、参加証及び講演論文集を郵送いたします。お届けは11月中旬頃となります。なお、論文集の事前送付を希望されない方は、当日会場にて受付をお願いします。

2) 事前申込締切：10月25日(金)・・・締切日以降に振り込まれますと参加証がお手元に届かない場合がありますのでご注意ください。

3) 参加費：正会員並びに公益・賛助会員所属；7,500円、学生会員；4,000円、非会員；12,000円

4) 申込先：〒108-0014 東京都港区芝5-1-9 豊前屋ビル5階 廃棄物学会事務局 Fax.03-3769-1492

5) 振込先：

銀行名；みずほ銀行 芝支店(店番号：054)  
 口座名；廃棄物学会研究発表会(ハ行ブ ヲ ヲイケンイコハヒ°ヨカイ)  
 口座番号；普通 2504706 【振込手数料はご負担願います】

6) 当日申込：論文集の事前送付を希望されない方、事前申込ができなかった方は、会場にて当日受付をご利用下さい。参加費は事前申込と同じです。現金払いのみで、後払いは一切承っておりません。なお、参加費は釣銭のないようご用意願います。

#### 4. 開催内容：

##### 1) 研究発表：401件（口頭発表312件、ポスター発表89件）

ポスター発表は二日に分けて行います。発表日についてはプログラムをご覧ください。

平成13年度廃棄物学会論文賞、奨励賞の受賞者講演（4件）を関連セッション（A1, A4, A5, D6）の中で行います。プログラムをご覧ください。

ポスター発表に対して「優秀ポスター賞」の表彰を行います。目的、審査方法等については、本案内23ページで公表しています。優秀ポスター賞は二日目懇親会において審査結果の発表・表彰を行うと共に、後日廃棄物学会ニュース等に掲載いたします。

##### 2) シンポジウム：11月29日（金）16:00 - 18:00 第1会場

「地球温暖化防止と循環型社会」

趣旨：循環型社会の構築は、地球温暖化をくい止めるための重要な方策である。COP3を開催し、京都議定書を採択した会議場でシンポジウムを持ち、循環型社会をつくりあげるために、各方面からどのようなことができるのか、するべきなのかを議論したい。

コーディネーター 高月 紘（京都大学）

パネリスト 中島 和子（京都府生活学校連絡協議会）

上山 静一（イオン株）

竹内 恒夫（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課）

上原 任（京都市環境局）

内藤 正明（京都大学）

##### 3) 国際セッション：11月29日（金）9:30 - 11:40 第9会場

22件（口頭発表8件、ポスター発表14件）

ポスター発表は1)研究発表と同様、二日に分けて行います。発表日についてはプログラムをご覧ください。

##### 4) 小集会

廃棄物計画研究部会 11月28日（木）13:00 - 15:00 第8会場

「廃棄物計画と市民参加 - 計画に市民が参加して何が変わるのか - 」

趣旨：近年、行政の施策や計画立案への市民参加がひろく見られるようになってきている。廃棄物分野は、日常生活と最も密接にかかわる行政サービスであることから、市民の関心も高く、様々な形態での参加の事例がある。今回の小集会を企画した関西グループは、1991年の活動開始以来、市民参加を一つのテーマとして検討を続けてきた。この間、廃棄物計画策定過程や実践段階での市民参加のありようは、大きく変わってきたように見える。本小集会では、様々な市民参加の事例を紹介するとともに、市民参加の一方の当事者である行政はどのように受け止めているのか、計画に市民が参加することで何が変わるのかを考察し、これからの市民参加はどうあるべきなのかを議論したい。

プログラム：代表挨拶 古市 徹（北海道大学）

趣旨説明 山本 攻（大阪市立環境科学研究所）

報告 小泉 春洋（株式会社地域計画建築研究所）

池田 由起（ゾネ・フラウ環境研究所）

青野 肇（青野技術士事務所）

意見交換

司会 西谷 隆司（大阪市立環境科学研究所）

有害廃棄物研究部会 11月28日（木）18:30 - 20:30 第5会場

「土壌汚染・有害廃棄物対策の最新の動き」

趣旨：本研究部会では、毎年、有害廃棄物問題に関する新しい話題提供を行っています。

今回の小集会では、土壌汚染対策とPOPs、重金属等の有害廃棄物対策の新しい動きと今後の方向を考える場を企画しました。

プログラム：1. 中杉 修身（独）国立環境研究所）土壌汚染対策法と今後の課題

日本の土壌・地下水汚染実態および取り組みの現状と土壌汚染対策法の概要や法の対象とならない油やPOPs等の土壌・地下水汚染の現状を紹介し、今後の課題を述べる。

2. 細見 正明（東京農工大学） ダイオキシン法に基づく土壌汚染対策の実例

ダイオキシン法に基づく土壌汚染対策の現状について、東京都の実例を含めて紹介し、底質のダイオキシン基準設定についても解説し、今後の課題を述べる。

3. 酒井 伸一 (独)国立環境研究所) PCB 廃棄物の分解技術とモニタリング  
日本の PCB 処理にむけた取り組みと分解技術の開発動向、ならびにモニタリング方法についての現況を紹介し、今後の課題を述べる。
4. 浦野 紘平 (横浜国立大学) 不法投棄廃棄物の有害・危険度の新しい評価方法  
不法投棄廃棄物の有害・危険度を評価する新しい方法の考え方と評価結果について、千葉県で取り組まれた実例を紹介し、今後の課題を述べる。
5. 水谷 聡 (京都大学) 埋立廃棄物の重金属類の試験評価方法と不溶化処理  
焼却飛灰、シュレッターダスト等の重金属類の試験評価方法の現状と問題点を解説するとともに、重金属類の溶出抑制対策としての不溶化処理法の全体像を紹介し、今後の課題を述べる。

リサイクルシステム技術研究会 11月28日(木)18:30-20:30 第6会場

「理想のリサイクルシステム・技術のあり方を考える - 各WGによる中間報告発表 - 」

趣旨：本部会ではリサイクルを要素技術のみならず経済、法・制度、社会、環境負荷等の幅広い観点から捉えるため、下記4つのWGに分かれて調査業務を実施している。

- WG1 「製品廃棄物(含むリース、レンタル、中古)」
- WG2 「リサイクル品の市場、販路、JIS化」
- WG3 「地域リサイクルシステムと環境コミュニケーション」
- WG4 「リサイクルシステム・技術の評価」

最終的には、各WGで出てきた問題点や課題を抽出・比較し、あるべき循環型社会構築に向けた提言を行いたいと考えているが、まずはWG毎の個別作業を中心に進めていくことを予定していることから、今回はWG毎の作業計画と現在の作業進捗状況を中心に発表する。

社会経済研究会 11月29日(金)9:30-11:30 第8会場

「産廃税を考える」(仮題)

趣旨：産業廃棄物については、排出抑制と不法投棄等不適正処理への対応が緊要の課題となっている。また、これらの問題と関連して、域外発生産業廃棄物の流入抑制措置等について議論されている。他方、地方分権制度の確立に伴い、都道府県は事業者、許可業者、処理施設に対する規制等の指導監督等を行うこととされた。このようなことを背景として、地方公共団体において産業廃棄物に課税する法定外税を導入する動きが具体化している。しかしながら産業廃棄物税については検討すべき課題も多い。本小集会では、産業廃棄物税の制度設計のあり方や施策導入の影響、他の産業廃棄物施策との関係等について取り上げ、パネルディスカッションを行う。

プログラム：部会長挨拶

趣旨説明

パネラー講演

- 倉阪 秀史 (千葉大学) 産業廃棄物税の動向とその課題(仮)
- 長崎 敬之 (三重県) 産業廃棄物税の創設と施行後の状況(仮)
- 笹尾 俊明 (岩手大学) 産業廃棄物税の論点と位置付け(仮)

質疑応答・意見交換総括

行政研究会 11月29日(金)13:30-15:30 第8会場

「京都議定書とプラスチックリサイクル」(仮題)

趣旨：京都議定書発効に向けて、今後廃棄物分野においても温暖化ガス削減が重要になってくると考えられます。その際最も重要になるプラスチックごみに焦点をあわせ、現在進捗しつつあるプラスチックリサイクルのあり方について関係者による討議をします。

ごみ処理にでてくるプラスチックがなくなれば 助かる？

はたして、プラリサイクルが最良の方法なのか(行政の本音とタテマエ)

埋め立てず、燃やした方が議定書で言っている、CO<sub>2</sub>の発生抑制に寄与するのでは？

などなど。プラスチックリサイクルについての功罪を討論する試みです。

コーディネーター 早川哲夫(麻布大学)  
パネリスト 環境省地球環境局より  
(社)プラスチック処理促進協会より  
行政担当者  
市民・学生 等

試験検査法部会(会員小集会) 11月30日(土)9:30-11:30 第8会場

5) 関西支部設立記念行事

関西支部設立総会および設立記念講演 11月29日(金)11:30-13:00 第3会場

内容: 設立総会

支部設立の経緯、支部規約、支部役員、支部の活動内容等

支部設立記念講演

武田信生(京都大学) 循環型社会への模索 -我々はどこから来てどこに行くのか-

関西支部設立記念シンポジウム 11月30日(土)13:00-15:30 第7会場

「廃棄物と土壤汚染」

趣旨: 今年成立した土壤汚染対策法が秋には省令も定まり、本格的に動き出そうとしている。これまで、廃棄物と残土は法体系上、一線を画していたが、今後は汚染土壌の処理土の受け皿として廃棄物処分場が期待されている。一方、過去の不適切な管理状態にあった処分場や不法投棄の現場では、土壤汚染の事例も報告されている。このシンポジウムでは、廃棄物処理処分事業と土壤汚染との関わりについて整理するとともに、具体的な事例について報告を受け、今後の両者の関係について討議する。

speaker1 「廃棄物と土壤汚染」

speaker2 「土壤汚染対策法と廃棄物処理処分事業」

speaker3 「不法投棄と土壤汚染」

speaker4 「廃棄物処分場への汚染土壌の受け入れ事例」

6) 市民展示: 11月28日(木)~11月30日(土) 1階メインラウンジ

7) 風呂敷使い方あれこれミニ体験講座:(日時未定) 1階メインラウンジ

8) 若手の会: 10月28日(木)12:00-13:00 国立京都国際会館内ランチバイキング会場

若手の会では、総会及び昼食会を上記日程で開催します。バイキング形式の食事を楽しみながら、お互いの親睦を深め、研究を含めた情報交換が出来る楽しい懇談会にしたいと考えています。奮ってご参加下さい。

なお準備の都合上、ぜひ事前にご連絡下さい。

参加費: 1200円程度(学生さんには大幅割引あり)

参加希望者連絡先: 鈴木慎也 [ssuzuki@fukuoka-u.ac.jp](mailto:ssuzuki@fukuoka-u.ac.jp) Fax 092-863-8248

詳しい情報は <http://www.jsme.gr.jp/wakate/> をご覧下さい。

9) 懇親会: 11月29日(金)18:30-20:30 京都宝ヶ池プリンスホテル

(1)参加費: 6,000円 (当日会場にてお支払い下さい。)

(2)申込方法: 2日目午前より総合受付にて受付いたします。研究発表会参加証を懇親会受付にお出し下さい。

10) 施設見学会 : 11月30日(土) 13:00 -

(1) 参加費 : A・B・Cコース 各コース2,000円 (当日会場にてお支払い下さい。)

(2) 申込方法 : 各コースとも先着順。初日午前から総合受付にて受付いたします。研究発表会参加証を見学会受付にお出し下さい。

(3) コース :

コース名	コース1	コース2	コース3
見学施設	・京エコロジセンター ・月桂冠大倉記念館	・東北部クリーンセンター ・鞍馬寺	・エコランド音羽の杜 (東部山間埋め立て処分地)
行程	13:00 国立京都国際会館発 京エコロジセンター 月桂冠大倉記念館 17:30 京都駅にて解散	13:00 国立京都国際会館発 東北部クリーンセンター 鞍馬寺 17:00 国際会館にて解散	13:00 国立京都国際会館発 エコランド音羽の杜 17:00 山科駅にて解散
定員	50名	50名	50名

11) ランチバイキング : 11月28日、29日 11:00-14:00 国立京都国際会館内

料金 : 1,200円(予定)

### 第13回廃棄物学会研究発表会タイムスケジュール

	第1会場 大会議場 1F (1840人)	第2会場 Room A 2F (360-550人)	第3会場 Room B-1 2F (160-210人)	第4会場 Room B-2 2F (110-160人)	第5会場 Room C-1 1F (100-120人)	第6会場 Room C-2 1F (110-120人)	第7会場 Room D 1F (220-250人)	第8会場 Room I 2F (60-90人)	第9会場 Room J 3F (60-90人)
11月28日	受付 9:00-								
	10:00-12:00 C1 焼却技術  岩崎 敏彦	10:00-12:00 E1 P C B 処理  小野 雄策	10:00-12:00 A9 廃棄物管理・計画(3)  大沼 進	10:00-11:30 D1 埋立地浸出水  土手 裕	10:00-12:00 A1 ごみ発生・性状  大塚 康治	10:00-11:45 B1 汚泥等の処理  新苗 正和	10:00-11:45 B4 コンポスト  金子 栄廣		
	13:00-15:00 C2 焼却排ガス・ダイオキシン吸着  金岡 千嘉男	13:00-15:00 C7 ガス化溶融  金子 充良	13:00-15:00 E2 ダイオキシン微生物分解/土壌・地下水汚染  安原 昭夫	13:00-15:00 D2 埋立地しゃ水  川口 光雄	13:00-15:00 A2 フロー解析/産業連関分析  寺園 淳	13:00-15:00 B6 R D F・炭化処理  谷川 昇	13:00-14:30 B2 生ごみ処理  今田 俊彦	13:00-15:00 小集会 廃棄物計画部会	
	15:15-17:00 C3 ダイオキシン触媒分解・発生抑制  上島 賢郎	15:15-17:15 C8 焼却灰溶融  河邊 安男	15:15-17:15 E3 土壌・地下水汚染  鍵谷 司	15:15-17:15 D3 埋立地安定化(1)  宮脇 健太郎	15:15-17:00 A3 住民意識  広瀬 幸雄	15:15-17:15 B7 廃ガラス・建築廃棄物の資源化  渡辺 洋一	15:15-17:15 B3 メタン発酵  原田 秀樹		
17:30-18:30 ポスター発表(第1グループ:プログラム中にP1と表記。): Room157									
				18:30-21:00 小集会 有害廃棄物研究部会	18:30-20:30 小集会 リサイクルシステム技術研究部会				
11月29日	9:30-11:15 C4 ダイオキシン脱塩素・分解  高岡 昌輝	9:30-11:30 C9 焼却灰安定化  水谷 聡	9:30-11:15 B9 溶融スラグの資源化(1)  土居 洋一	9:30-11:15 D4 埋立地安定化(2)  井上 雄三	9:30-11:15 E4 有害性試験  田崎 智宏	9:30-11:30 A7 廃棄物管理・計画(1)  中村 慎一郎	9:30-11:30 B5 プラスチックの資源化  遠藤 茂寿	9:30-11:30 小集会 社会経済研究部会	9:30-10:30 F1 国際セッション  10:40-11:40 F2 国際セッション
	11:45-12:45 ポスター発表(第2グループ:プログラム中にP2と表記。): Room157								
11:30-13:00 関西支部 支部設立総会、設立記念講演: Room B-1(第3会場)									
	13:30-15:30 C5 ダイオキシン生成・排出  竹内 正雄	13:30-15:15 C10 飛灰の性状  貴田 晶子	13:30-15:15 B10 溶融スラグの資源化(2)  前野 祐二	13:30-15:15 D5 埋立地モニタリング  長森 正尚	13:30-15:15 D6 埋立地における化学物質の挙動  石井 一英	13:30-15:30 A8 廃棄物管理・計画(2)  山本 攻	13:30-15:30 A5 容器包装・自動車等のリサイクル  荒井 康裕	13:30-15:30 小集会 行政研究部会	
16:00-18:00 シンポジウム「地球温暖化防止と循環型社会」: 大会議場(第1会場)									
18:30-20:30 懇親会: 京都宝ヶ池プリンスホテル									
11月30日	9:30-11:30 C6 ダイオキシン測定・分析  浅田 正三	9:30-11:15 B8 焼却灰の資源化  水流 純男	9:30-11:30 A4 L C A  松野 泰也	9:30-11:15 D7 浸出水バイオモニタリング  木苗 直秀	9:30-11:15 E5 有害廃棄物処理  福井 博	9:30-11:00 B11 その他有機系廃棄物の資源化  岩淵 和則	9:30-11:30 A6 リサイクルシステム評価  森 俊介	9:30-11:30 小集会 試験検査法研究部会	
	13:00- 施設見学								
13:00-15:30 関西支部 設立記念シンポジウム「廃棄物と土壌汚染」: Room D(第7会場)									

若手の会: 11月28日(木) 12:00-13:00 国立京都国際会館内ランチバイキング会場

市民展示: 11月28日(木) ~ 11月30日(土) 1階メインラウンジ

風呂敷の使い方あれこれミニ体験講座: 1階メインラウンジ

# 第 13 回研究発表会セッションプログラム

(講演番号の前のPはポスター発表<P1：1日目発表、P2：2日目発表>、その他は口頭発表)  
(各セッション座長1人制)

A 1 ごみ発生・性状 【 11月28日(木) 第5会場 10:00-12:00 】  
座長 大塚康治((財)日本環境衛生センター)

- A 1-1 『平成13年度廃棄物学会論文賞』受賞者講演 「使用済み耐久消費財の発生台数の予測」  
(独)国立環境研究所 田崎智宏
- A 1-2 食品および飲料製造業から排出される食品系廃棄物量の推計  
(独)国立環境研究所 井上雄三、大河内由美子 (株)日水コン 町田直美
- A 1-3 ディスポーザー使用地域におけるごみの排出量と排出挙動に関する考察  
(財)日本環境整備教育センター 楊 新泌、仁木圭三、大森英昭
- P 1 A 1-4 北海道における家畜糞尿の排出量・還元可能量の試算  
(株)日通総合研究所 近江貴治
- A 1-5 北海道における木質廃棄物発生量の推定  
北海道立林産試験場 清野新一、東 智則、石河周平
- A 1-6 事業系ごみ発生量把握手法の開発  
(株)地域計画建築研究所 福岡雅子、小泉春洋、松岡浩史
- A 1-7 産業系廃プラスチックの発生事業所外処理処分の実態調査  
(社)プラスチック処理促進協会 山本圭作 呉羽化学工業(株) 小沼 忠 (株)循環社会研究所 澤石直史
- P 2 A 1-8 事業系ごみの排出実態調査及び収集・運搬に係るケーススタディ  
(株)中央設計技術研究所 若林千草、田川忠晴、山本正樹
- A 1-9 リサイクル促進に伴う収集廃棄物及び焼却残渣性状の変化予測  
九州大学 大寺泰輔、中山裕文、島岡隆行
- P 1 A 1-10 家庭からの様々な電気・電子製品の使用済み発生台数の推計  
横浜国立大学 亀屋隆志、八木 克、浦野紘平
- A 1-11 紙の漂白の変遷と紙製品中揮発性塩素濃度との関係  
東京都環境科学研究所 占部武生、及川 智
- P 2 A 1-12 ごみ中の揮発性塩素の経年変化とその由来の検討  
東京都環境科学研究所 及川 智、占部武生
- P 1 A 1-13 ごみ試料中の塩素・硫黄を分析するための改良燃焼管法  
京都大学 渡辺信久 大阪市環境科学研究所 山本 攻、酒井 護

A 2 フロー解析/産業連関分析 【 11月28日(木) 第5会場 13:00-15:00 】  
座長 寺園淳((独)国立環境研究所)

- A 2-1 サブスタンスフローアナリシスによる鉛の蓄積と自然環境への排出特性の把握および将来シナリオの評価  
(独)国立環境研究所 井上雄三、山田正人 (株)富士総合研究所 久保利晃
- A 2-2 関東圏域における建設系産業廃棄物のフロー解析  
(独)国立環境研究所 川畑隆常、大迫政浩 (財)日本環境衛生センター 立尾浩一
- A 2-3 食用油のマテリアルフローの推定  
金蘭短期大学 桑垣 豊
- A 2-4 循環型社会に向けた物質循環の6つの指標の提案～マテリアルフロー分析の視点から～  
(独)国立環境研究所 橋本征二、森口祐一
- A 2-5 最適化問題としての廃棄物産業連関モデル：理論と応用  
早稲田大学 近藤康之、中村慎一郎
- A 2-6 循環資源のマテリアルフロー分析のための物量投入産出表の設計  
(独)国立環境研究所 森口祐一 (株)富士総合研究所 松井重和
- A 2-7 地域分析用廃棄物産業連関モデルの開発と応用  
早稲田大学 高瀬浩二 (株)三菱総合研究所 西原 弘
- A 2-8 廃棄物産業連関分析の動学的拡張  
早稲田大学 横山一代

A 3 住民意識 【 11月28日(木) 第5会場 15:15-17:00 】  
座長 広瀬幸雄(名古屋大学)

- A 3-1 埼玉県所沢市のダイオキシン類汚染事例における市民・行政の意識・行動の解析  
横浜国立大学 桑垣玲子、浦野紘平

- A 3-2 買い物行動と意識からみる循環型社会形成対策の方向性  
九州芸術工科大学 谷 正和、近藤加代子
- A 3-3 「生活時間のゆとり」および「生活経験」と環境行動との関係について  
九州芸術工科大学 近藤加代子、谷 正和
- A 3-4 公共空間における散乱ごみの発生状況と啓発による効果の重層性に関する研究  
広島大学 中野善廣、張 允鐘、早瀬光司
- P 2 A 3-5 事業系古紙リサイクルについての事業所の意識と実態  
愛知教育大学 杉浦淳吉 (特非)中部リサイクル運動市民の会 萩原喜之、伊藤 裕
- A 3-6 焼却施設建設地選定のための市民参加型の合意形成支援システムの構築について  
北海道大学 古市 徹、高橋富男
- A 3-7 面倒な分別制度を市民はどう受け入れたか? - 名古屋市民の制度評価  
富士常葉大学 大沼 進 名古屋大学 広瀬幸雄 愛知教育大学 杉浦淳吉
- A 3-8 住民アンケート調査による循環型社会指標の開発に関する研究  
岡山大学 田中 勝、吉澤佐江子
- A 4 L C A 【 11月30日(土) 第3会場 9:30-11:30 】  
座長 松野泰也(東京大学)
- A 4-1 『平成13年度廃棄物学会論文賞』受賞者講演 「生ごみ処理のLCA評価」  
京都大学 平井康宏、高月 紘 (独)国立環境研究所 酒井伸一
- A 4-2 共製品がある場合のLCIにおける「物理的配分」と「価格配分」の関係  
環境テクノス(株) 中村昌広
- A 4-3 廃家電製品及び廃自動車からのフロン類の回収・破壊に関するLCA評価  
(株)杉山・栗原環境事務所 栗原和夫 (独)国立環境研究所 大迫政浩 (株)杉山・栗原環境事務所 杉山涼子
- P 1 A 4-4 不飽和ポリエステル樹脂を主成分とする複合材料リサイクルに関する環境評価  
日立化成工業(株) 清水 浩、柴田勝司、伊澤弘行
- P 2 A 4-5 防腐処理木材を用いた木橋のライフサイクルアセスメント  
(独)国立環境研究所 橋本征二 京都大学 広池秀人 トリスミ集成材(株) 山中勇司
- A 4-6 廃棄物マネージメントを支援する建築・都市システムの構築 ディスポーザによる生ゴミ処理のインフラの視点での評価  
鹿島技術研究所 間宮 尚 東京大学 鎌田元康 東京理科大学 井上 隆
- P 1 A 4-7 合併処理浄化槽の環境負荷量に関する調査  
(独)国立環境研究所 西村和之 豊橋技術科学大学 木曾祥秋 (財)日本環境整備教育センター 渡辺孝雄
- A 4-8 廃棄物ガス化溶融設備(ガス化改質方式)による産業廃棄物処理のLCI解析  
川崎製鉄(株) 村上みさを、行本正雄、山田純夫
- A 4-9 廃棄物の広域処理における RDF 発電の有効性に関する研究 - 茨城県鹿嶋市・神栖町でのケーススタディ -  
東京ガス(株) 小松 渚 東京大学 磐田朋子、島田荘平
- A 4-10 LCA と LCC の統合による廃棄物処理技術の導入評価  
早稲田大学 永田勝也 新日本製鐵(株) 長田守弘 早稲田大学 関合治朗
- A 4-11 実績データに基づく廃棄物処理施設のLCA手法による環境負荷評価  
川崎重工業(株) 宇治貞宏、小田切隆、加藤敦士
- A 5 容器包装・自動車等のリサイクル 【 11月29日(金) 第7会場 13:30-15:30 】  
座長 荒井康裕(東京都立大学)
- A 5-1 『平成13年度廃棄物学会奨励賞』受賞者講演 「詰め替え製品の使用による容器包装の減量効果について」  
(財)日本環境衛生センター 大塚康治
- A 5-2 カレット選別機によるガラス色選別実験について  
京都市 山田一男 (株)クボタ 白井淳彦
- A 5-3 間伐材と発泡廃ガラス材を用いた岩盤緑化工法  
日本建設技術(株) 原 裕 建設環境エンジニアリング(有) 原真由美 日本建設技術(株) 佐藤磨美
- A 5-4 廃ガラスびんの脱アルカリ試験結果  
太平洋セメント(株) 山本泰史、阿部信彦、鎌田浩司
- A 5-5 流動層選別装置による破碎ごみの可燃・不燃物連続選別  
宮崎大学 関戸知雄 北海道大学 田中信壽、松藤敏彦
- P 2 A 5-6 家電製品における包装物重量とその評価  
京都大学 山末英嗣、石原慶一
- A 5-7 使用済み自動車のシートの直接資源化 - 高齢者福祉のための椅子類の作製 -  
香川県立医療短期大学 獅々堀壺
- A 5-8 易解体性を考慮した設計手法の検討 - 車いすの解体解析 -  
早稲田大学 永田勝也、納富 信、小野田弘士



- A 5-9 自動車のリユース・リサイクルに関する検討 - 易解体性の評価とリサイクル可能率の推定 -  
早稲田大学 永田勝也、齋藤康光、小菅晋作
- P 1 A 5-10 自動車のリユース・リサイクルに関する検討 - リユース部品の環境影響評価 -  
早稲田大学 永田勝也、齋藤康光、高津善彦
- P 2 A 5-11 廃棄物・循環資源に対する選別・抽出技術の動向について  
(独)国立環境研究所 山田正人 (株)富士総合研究所 柴田昌彦 (独)国立環境研究所 石垣智基
- A 6 リサイクルシステム評価 【 11月30日(土) 第7会場 9:30-11:30 】  
座長 森俊介(東京理科大学)
- A 6-1 家庭生ゴミ堆肥化とその利用を考慮した環境調和型市民農園による環境負荷削減効果について  
鳥取大学 増田貴則、細井由彦、相良拓男
- A 6-2 石炭火力発電所より発生するフライアッシュのバロリゼーション評価(1)  
INSA-Lyon 田野崎隆雄、レジナ・カストロ、ジャック・メウ
- A 6-3 軟質ウレタンファームのリサイクルプロセス評価  
(独)産業技術総合研究所 大矢仁史、遠藤茂寿 出光テクノファイン(株) 大山 茂
- A 6-4 生物系廃棄物のコンポスト化によるリサイクルの可能性の検討 - 山梨県を対象とした調査および推計 -  
山梨大学 平川裕二、金子栄廣
- A 6-5 環境イベントにおける廃棄物発生状況の調査と廃棄物処理システムの評価  
早稲田大学 波田洋平、永田勝也、納富 信
- A 6-6 大規模な新築現場における現場内分別の実態調査と建設系廃棄物処理システムの試案  
ものつくり大学 大塚秀三、中田善久、毛見虎雄
- A 6-7 有機系廃棄物リサイクルシステム構築のための要素技術選択方法  
北海道大学 宮野 寛、古市 徹、谷川 昇
- A 6-8 環境効用ポテンシャル評価(E2-PA)法の開発  
ミックヤ環境システム研究所(株) 愛澤政仁、浅岡 健、宇佐見千華子
- P 1 A 6-9 一般廃棄物管理システムの将来動向に関する研究  
京都大学 藤原健史、中村太陽、松岡 謙
- A 7 廃棄物管理・計画(1) 【 11月29日(金) 第6会場 9:30-11:30 】  
座長 中村慎一郎(早稲田大学)
- A 7-1 整数計画法による都市ごみの広域処理に関する最適化モデル分析  
東京都立大学 荒井康裕、手島顕之、稲員とよの
- A 7-2 広域を対象とした多目的廃棄物輸送モデルに関する一考察  
東京都立大学 河野裕和、小泉 明、荒井康裕
- A 7-3 循環型社会における廃棄物基本問題解決のための政策モデルの検討  
北海道大学 内山岳志、古市 徹、谷川 昇
- A 7-4 廃棄物処理計画の策定に向けた戦略アセスメント等に関する一考察  
(財)日本環境衛生センター 立尾浩一 青森県 藤田武美 (独)国立環境研究所 山田正人
- A 7-5 広域処理における中継施設の経済的評価例  
(株)未来開発コンサルタント 米通 猛、二階堂匠、近藤健一郎
- A 7-6 宮城県産業廃棄物再生利用ネットワークの枠組の構築の試み  
東北大学 秦 燕春、重野芳人
- P 2 A 7-7 廃棄物減量化政策に関する政策評価手法の開発についての試論~名古屋市廃棄物減量化政策に係るケーススタディを通じて~  
名古屋大学 柳下正治、岡山朋子
- P 1 A 7-8 秋田県エコタウン事業の構造分析  
(独)国立環境研究所 山田正人 国立保健医療科学院 渡辺征夫 (株)富士総合研究所 齊藤 聡
- P 2 A 7-9 し尿処理の広域化に伴う受入能力検証のケーススタディ  
(株)中央設計技術研究所 若林千草、田川忠晴、山本正樹
- A 7-10 分別収集対象品目の追加を考慮した収集・運搬体制の検討  
(株)中央設計技術研究所 若林千草、田川忠晴、山本正樹
- P 1 A 7-11 蒸着爆砕街路樹剪定枝を用いた生ごみの都市型リサイクルシステムの提案  
三重県科学技術振興センター 原 正之、村上圭一、小阪幸子
- P 2 A 7-12 廃棄物交換情報制度の現状と今後の課題  
静岡県立大学 竹下是央、仁田義孝、横田 勇
- A 7-13 ゼロエミッション・相互連携支援ネットワークの構築  
北九州市 垣迫裕俊 (株)九州テクノリサーチ 佐藤明史 新日本製鐵(株) 山下 普
- P 1 A 7-14 ゼロエミッション型イベントの開催について  
山口県 重田道正、山野 元、上田洋一

- A 8 廃棄物管理・計画(2) 【 11月29日(金) 第6会場 13:30-15:30 】  
座長 山本攻(大阪市立環境科学研究所)
- P 2 A 8-1 北九州博覧祭 2001 におけるゼロエミッションの取組の評価 排出抑制取組  
(株)エックス都市研究所 内藤 弘 北九州市 松岡俊和 早稲田大学 永田勝也
- A 8-2 ジャパンエキスポ(北九州博、山口博、福島博)における 3R 取組  
(株)エックス都市研究所 山田芳幸、内藤 弘、秦三和子
- A 8-3 IT を利用したパートナーシップ・マネジメントの実用性  
山梨大学 成島誠一、北村真一 北陸先端大学院大学 五井隆浩
- A 8-4 循環型社会形成への取組について (1)家庭ごみ完全有料化システムの構築  
奈良県保健環境研究センター 宇野正清 奈良県 芳川一宏
- A 8-5 住民の選好に基づいた廃棄物処分場設置の社会経済的評価 - 選択型実験の廃棄物計画への応用 -  
岩手大学 笹尾俊明
- A 8-6 リスクコミュニケーションにおける課題とサポートシステムの検討  
岡山大学 石坂 薫、田中 勝
- A 8-7 ごみ処理施策において環境情報が市民の意思決定に与える影響  
(独)国立環境研究所 寺園 淳、松橋啓介 (株)インテージ 吉田早苗
- A 8-8 ケーススタディによる合意形成ソリューションへの提案  
北陸先端科学技術大学院大学 五井隆浩 山梨大学 成島誠一、北村真一
- A 8-9 リサイクルプラザ整備によるごみ減量効果と今後の取り組み  
横須賀市 浅野 悟 住友重機械工業(株) 梁瀬克介、竹田久人
- A 9 廃棄物管理・計画(3) 【 11月28日(木) 第3会場 10:00-12:00 】  
座長 大沼進(富士常葉大学)
- A 9-1 研究機関における化学薬品の物質収支の把握 - 京都大学の事例 -  
京都大学 水谷 聡、鈴木靖文、野村直史
- A 9-2 循環・廃棄物分野における化学物質プライオリティリストの作成  
(独)国立環境研究所 井上雄三、山田正人 (株)富士総合研究所 本田和英
- A 9-3 ヘキサクロロベンゼンの排出量推定と環境運命予測モデルによる挙動解析  
京都大学 平井康宏、高月 紘 (独)国立環境研究所 酒井伸一
- A 9-4 資源化・破碎処理施設における防災計画について  
日本大学 橋本 治、三橋博巳
- A 9-5 IT 社会に対応した GIS を用いた最終処分場管理の信頼性向上  
福岡市 真次 寛、小山田謙二、北島保彦
- A 9-6 定性的調査による不法投棄の発生要因に関する構造モデルの構築  
(独)国立環境研究所 松井康弘、大迫政浩、田崎智宏
- P 1 A 9-7 人工衛星と GIS を用いた不法投棄監視システム  
(独)国立環境研究所 田崎智宏、田村正行、大迫政浩
- A 9-8 環境的公正の視点からみた最終処分場と不法投棄の空間分布評価  
東京工業大学 秋山 貴 (独)国立環境研究所 大迫政浩、松井康弘
- A 9-9 クローズドシステム処分場の PFI 事業化に向けた検討  
国際航業(株) 井土将博、坂井正実
- B 1 汚泥等の処理 【 11月28日(木) 第6会場 10:00-11:45 】  
座長 新苗正和(京都大学)
- B 1-1 下水汚泥焼却灰からのリン肥料製造技術の開発  
日本下水道事業団 桑子松司 三機工業(株) 小松貴司、岩井良博
- B 1-2 UASB 法と散水ろ床で処理した豚舎汚水中リン酸の結晶化に関する基礎検討  
(独)農業技術研究機構畜産草地研究所 鈴木一好
- P 2 B 1-3 蘇生紙ポット作製過程で生じる廃液の性状と微生物分解特性  
鹿児島工業高等専門学校 木原正人、山内正仁 宮崎大学 増田純雄
- B 1-4 超臨界水を利用した廃棄物からのメタン製造技術に関する研究  
(社)日本ガス協会 松本信行 大阪ガス(株) 田所克章 (株)神戸製鋼所 長瀬佳之
- B 1-5 焼酎蒸留粕の圧搾ろ過時における圧力と含水率に関する一考察  
宮崎大学 増田純雄 鹿児島工業高等専門学校 山内正仁 宮崎市 法元隆浩
- B 1-6 熱噴流乾燥機を用いた汚泥状有機性廃棄物の乾燥特性  
東京大学 林 直人 荏原実業(株) 梅原秀之 東京大学 島田荘平
- B 1-7 電解汚泥による脱臭性能の解明と改善  
日本大学 高橋岩仁、大木宜章 道都大学 大沢吉範

B 1-8 下水汚泥が含む重金属の化学形態

NKK 藤原茂樹、名越正泰 京都大学 高岡昌輝

B 2 生ごみ処理 【 11月28日(木) 第7会場 13:00-14:30 】

座長 今田俊彦(株日水コン)

B 2-1 排熱利用を考慮した食品廃棄物の乾燥と飼料化

静岡県環境衛生科学研究所 前波清隆、飯田 正、今川隆之

B 2-2 種菌を用いた生ごみ処理機の安定運転

三洋電機(株) 山口博子、井上高一

P 1 B 2-3 小規模モデル装置および家庭用生ゴミ処理機における担体含水率による微生物相の変化

秋田県立大学 堀沢 栄 北海道大学 森下高吉 国際農林水産研究センター 佐久間洋

B 2-4 植物系生ゴミ成分の水蒸気爆砕処理

中央大学 小俣美咲、船造俊孝

B 2-5 堆肥化による生ごみリサイクルシステムの構築手法に関する提案

(株)エックス都市研究所 秦三和子、内藤 弘

B 2-6 厨芥メタン発酵廃液の生物学的窒素除去

(株)栗本鐵工所 塚越由季子、杉村誠司、大江敏和

B 2-7 食品廃棄物の発酵処理による養豚飼料化技術とシステム化

東京家政学院短期大学 大村省吾 日本農業実践学園 加藤達人

B 2-8 下水高度処理の吸着剤としての生ごみ由来の活性炭の利用に関する研究

京都大学 吉田浩太郎、内海秀樹、松井三郎

P 2 B 2-9 食品廃棄物の高温分解液状化と有機性融雪液剤の調製

ハザマ 山内 寛

P 1 B 2-10 廃大豆油を用いるポリウレタンの合成

東洋大学 松永勝治、小倉正和 東洋クオリティワン 久我茂夫

B 3 メタン発酵 【 11月28日(木) 第7会場 15:15-17:15 】

座長 原田秀樹(長岡技術科学大学)

B 3-1 有機系廃棄物再資源化実証プラントの運転報告(その3)

(株)タクマ 河野孝志、平尾知彦、益田光信

B 3-2 厨芥を主体とする生ごみのメタン発酵処理技術(北見市実証試験の報告)

(株)栗本鐵工所 浜嶋光洋、三村良平 バブコック日立(株) 下平和佳子

B 3-3 無希釈高速メタン発酵システムによる食品廃棄物の処理

アタカ工業(株) 水野 修、船石圭介、李 玉友

P 2 B 3-4 生活雑排水系有機物のバイオガス化

日本工業大学 佐藤茂夫、兼田英樹

B 3-5 畜産ふん尿等有機性廃棄物の混合メタン発酵システム

(株)クボタ 山本哲也 山梨県畜産試験場 赤尾友雪 生物系特定産業技術研究推進機構 道宗直昭

B 3-6 家畜ふん尿等のメタン発酵処理と消化ガス発電の運転実績

(株)大林組 小川幸正 京都府八木町 中川悦光

B 3-7 回分式メタン発酵における基質としての可溶化液の有効性の検証

(株)栗本鐵工所 岸 郁子、中村幸子、杉村誠司

B 3-8 ディスポーザー汚泥のメタン発酵処理特性

アタカ工業(株) 奥野芳男、芝田賢二、李 玉友

B 3-9 高濃度共同消化(Co-digestion)法による油脂のメタン化処理

アタカ工業(株) 李 玉友、山下耕司、関 廣二

B 4 コンポスト 【 11月28日(木) 第7会場 10:00-11:45 】

座長 金子栄廣(山梨大学)

B 4-1 寒冷地における下水汚泥のコンポスト化

日本ヘルス工業(株) 山口和男、尾崎靖忠、櫻木周一

B 4-2 生分解性プラスチック添加によるコンポスト化過程で発生するアンモニア臭低減のメカニズム

静岡大学 中崎清彦、松浦治騎、田中寛幸

B 4-3 家畜排泄物堆肥化過程からの環境負荷ガス発生に及ぼす日射の影響

(独)農業技術研究機構畜産草地研究所 長田 隆、福本泰之 生物系特定産業技術研究推進機構 道宗直昭

B 4-4 コンポスト化過程における脂肪添加の効果

静岡大学 中崎清彦、長崎一基 高知工科大学 有賀 修

B 4-5 高速サイズ排除クロマトグラフィーによるコンポストの腐熟度評価

弘前大学 青山正和 (独)肥飼料検査所 松崎美由起

B 4-6 生ごみ堆肥の重金属等含有率調査

北のごみ総合研究会 神山桂一 (株)未来開発コンサルタント 米通 猛

B 4-7 室内におけるダンボール箱での厨芥処理の研究

循環(くるくる)ネットワーク北海道 神山桂一 (株)未来開発コンサルタント 米通 猛、中家隆夫

B 5 プラスチックの資源化 【 11月29日(金) 第7会場 9:30-11:30 】

座長 遠藤茂寿( (独)産業技術総合研究所)

P 1 B 5-1 熱特性を用いたプラスチック廃棄物簡易同定法の開発

横浜国立大学 堀 雅宏、塩澤雄一郎

P 2 B 5-2 廃TVプラスチックのマテリアルリサイクル:

(株)テルム 早田輝信 (株)東芝 上山大治郎

B 5-3 農ビリサイクルシステム用静電分離装置の実用化

日立造船(株) 大工博之、塚原正徳、前畑英彦

P 1 B 5-4 高電流スライディングスパーク技術によるプラスチックの識別と添加剤の検出

長崎大学 石橋康弘、田平泰広 (株)九州科学 岩下真志

P 2 B 5-5 ラマン分光法による黒色樹脂の簡易識別

(独)産業技術総合研究所 古屋仲茂樹、遠藤茂寿 芝浦工業大学 関澤 剛

P 1 B 5-6 使用済みプラスチックの高度乾式分離技術

NKK 宮澤智裕、山崎茂樹、清水 浩

P 1 B 5-7 紙基材フェノール樹脂積層板の液相分解

日立化成工業(株) 伊澤弘行、柴田勝司 (独)産業技術総合研究所 佐藤芳樹

B 5-8 発泡スチロールの微粒減容化に関する研究

金沢大学 徳野剛史、汲田幹夫 テラ(株) 八十田豊志

B 5-9 プラスチック廃棄物の処理に関する研究

千葉大学 立本英機、森脇三郎、町田 基

B 5-10 廃PETボトルのケミカルリサイクル技術

月島機械(株) 鈴木健治、田中一穂

B 5-11 電子・電気機器使用済みプラスチックの処理技術に関する基礎調査 - ラボスケールのガス化処理基礎実験 -

(社)プラスチック処理促進協会 荷福正隆、藤井数男 出光石油化学(株) 平山昭夫

P 2 B 5-12 臭素系難燃剤含有ABS樹脂を含む混合プラスチックの熱分解油精製プロセスの開発

岡山大学 村井一也、武藤明徳、阪田祐作

B 5-13 廃プラスチックの接触分解による石油化学原料化プロセスの開発(第1報)

石川島播磨重工業(株) 西野順也、伊東正皓 室蘭工業大学 上道芳夫

B 5-14 炭酸カルシウム系・酸化鉄系精製材によるPVC含有廃プラスチック分解油の脱塩素

岡山大学 草場敏章、阪田祐作、武藤明徳

B 5-15 臭素系難燃剤含有HIPSの熱分解油の脱臭素精製基礎研究

岡山大学 金子 純、阪田祐作、武藤明徳

P 2 B 5-16 廃FRPから回収したガラス繊維並びにフィラーを用いた再利用FRPの特性評価

日立化成工業(株) 伊澤弘行、柴田勝司 (株)日立ハウステック 岩井 満

P 1 B 5-17 リサイクルを目的とした不飽和ポリエステル樹脂(UP)を主成分とする複合材料の溶解性

日立化成工業(株) 福澤寿代、柴田勝司、伊澤弘行

B 6 RDF・炭化処理 【 11月28日(木) 第6会場 13:00-15:00 】

座長 谷川昇(北海道大学)

B 6-1 新型廃棄物固形化燃料(RDF)利用発電技術開発実証試験結果

電源開発(株) 椎屋光昭、大塚哲夫、野口嘉一

B 6-2 RDFおよび炭化物の有効利用に関する調査研究( ) - 汚泥焼却におけるRDF及び炭化物の添加効果 -

倉敷紡績(株) 川畑 修 環境計画センター 鍵谷 司

B 6-3 廃棄物から作製した炭素 - セラミックス多孔体の吸着特性に及ぼす賦活剤添加効果

名古屋大学 笹井 亮、虎澤雅寛、伊藤秀章

B 6-4 再資源炭の肥料代替機能に関する基礎的な検討

(独)農業工学研究所 凌 祥之、山岡 賢、齋藤孝則

B 6-5 有機性資源の炭化による新資材化技術の開発(第2報)

(株)東芝 安村恵二郎、柴崎和夫 (独)農業工学研究所 凌 祥之

B 6-6 吸着特性による竹炭の性能評価と細孔構造の推定

東京大学 藤井隆夫、鶴 達郎、迫田章義

B 6-7 汚泥・し渣の炭化処理に関する検討

(株)タクマ 馬場淳一、藤田雅人、坂上正美

B 6-8 下水汚泥から製造した活性炭化物を利用した排水処理方法に関する研究

川崎重工業(株) 楠田浩雅、澤井正和、尾崎弘憲

- P 2 B 6-9 浄化槽汚泥の炭化による再生利用に関する一考察  
(財)日本環境整備教育センター 加藤裕之、楊 新泌、渡辺孝雄
- P 1 B 6-10 古紙活性炭の試作と評価  
東洋大学 大川原武、富永 匠
- B 7 廃ガラス・建築廃棄物の資源化 【 11月28日(木) 第6会場 15:15-17:15 】  
座長 渡辺洋一(埼玉県環境科学国際センター)
- B 7-1 廃ガラス・廃塩化ビニルを用いたセメント焼成プロセス  
太平洋セメント(株) 青山久範、三崎紀彦、末岡忠士
- P 2 B 7-2 廃プラスチック・廃ガラスを原料とした試製セメントクリンカの評価  
太平洋セメント(株) 吉川知久、小津 博、村岡義正
- B 7-3 窯業系廃棄物を代用骨材として用いたコンクリートの実用性検討試験  
崇城大学 上杉真平 熊本大学 大津政康
- P 1 B 7-4 廃ガラス破砕材を混合した複合地盤材料の有効利用に関する研究  
崇城大学 荒牧憲隆、近藤 亮
- P 2 B 7-5 埼玉県における廃木材破砕チップ化施設実態調査  
埼玉県環境科学国際センター 渡辺洋一、倉田泰人 東京農工大学 細見正明
- B 7-6 建設廃木材中の化学物質(第2報)  
埼玉県環境科学国際センター 倉田泰人、渡辺洋一、河村清史
- B 7-7 防眩材におけるリサイクル手法の開発  
東京工業大学 岩佐 徹 シバタ工業(株) 西本安志 (財)鉄道総研 御船直人
- B 7-8 住宅解体時に発生する廃コンクリートからのがれき類再生利用量及び廃プラスチックの発生量の推定  
岡山大学 松原ひろみ、小野芳朗 水道機工(株) 青井健太郎
- P 1 B 7-9 コンクリート塊の資源循環に関する研究 建物解体におけるコンクリート塊処理への配慮  
東京理科大学 小林謙介 鹿島建設(株) 間宮 尚 東京理科大学 井上 隆
- B 7-10 コンクリート塊の資源循環に関する研究 コンクリート塊の処理における現状・問題点の把握  
東京理科大学 小林謙介 鹿島建設(株) 間宮 尚 東京理科大学 井上 隆
- B 7-11 戻りコンクリートを再利用したポンプ圧送用先送りモルタルの実用化に関する検討  
(株)内山アドバンス 飯生昌之、奈良禧徳 ものつくり大学 中田喜久
- B 7-12 ソイルセメント柱列壁工法の発生泥土リサイクル工法(GSS 工法)  
川商ジェコス(株) 齋藤 恂、海保晴喜、大松澤季宏
- P 2 B 7-13 原子力発電所建屋工事から発生する建設廃棄物への対応  
東北電力(株) 志賀 衛、樋口雅之 鹿島技術研究所 間宮 尚
- B 8 焼却灰の資源化 【 11月30日(土) 第2会場 9:30-11:15 】  
座長 水流純男(パシフィックコンサルタンツ(株))
- P 1 B 8-1 都市ごみ焼却飛灰を用いた骨材への鉄と炭素の影響  
住友金属鉱山(株) 川本孝次、友田勝博、松野基次
- B 8-2 流動床炉によるストーカ混合灰の資源化  
(株)神戸製鋼所 白石幸弘、田頭成能、進藤照浩
- B 8-3 焼成法による焼却飛灰の無害化・骨材化技術開発  
住友金属鉱山(株) 友田勝博、松野基次、川本孝次
- P 2 B 8-4 高圧真空成型法を用いた廃棄物利用の非焼成建材の作成  
九州工業大学 柿本幸司 田川産業(株) 尾池哲郎 近畿大学 在永未徳
- P 1 B 8-5 低温焼結法による焼却残さの再資源化技術  
新興プランテック(株) 新宮宏昭、片田正弘 (独)産業技術総合研究所 鈴木憲司
- B 8-6 アルミ灰、PS 灰およびガラス粉から成る混合焼結物の作製と透水性軽量骨材への応用  
東海大学 佐々木雅美、上村税男 馬淵建設(株) 高野 勉
- B 8-7 焼却灰からの重金属類回収に有効な微生物の検討  
大阪大学 立田真文、中西亜加音、藤田正憲
- B 8-8 溶融飛灰からの酸溶解による化学的金属回収法の比較研究  
三井造船(株) 藤田理人 北海道大学 田中信壽、松藤敏彦
- B 8-9 廃棄物からの無機塩の資源回収および溶出挙動予測のための活量係数式の提案と応用  
(独)国立環境研究所 倉持秀敏、川本克也、大迫政浩
- B 8-10 下水汚泥焼却灰からのリン酸ナトリウム回収方法 - 加熱処理法 -  
三重県科学技術振興センター 高橋正昭、円城寺英夫 NKK 中原啓介
- P 2 B 8-11 下水汚泥焼却灰からのりん酸塩とゼオライトの回収方法  
三重県科学技術振興センター 佐藤邦彦、高橋正昭 太平洋セメント(株) 三浦啓一
- B 8-12 製紙スラッジ(PS)焼却灰のSi 添加によるゼオライト合成と吸着機能評価  
静岡県富士工業技術センター 安藤生大、日吉公男 愛媛大学 逸見彰男

- P 1 B 8-13 ごみ焼却灰のセメント原料化(その1 実証試験結果と事業化)  
山口県 重田道正、山野 元、上田洋一
- P 2 B 8-14 ごみ焼却灰のセメント原料化(その2 原料化施設の整備と稼働状況)  
(株)トクヤマ 城 安市 山口エコテック(株) 羽矢安秀 山口県 重田道正
- P 1 B 8-15 都市ごみ焼却灰を主原料としたエコ石灰セメントの開発  
鹿児島工業高等専門学校 前野裕二、三原めぐみ
- B 9 溶融スラグの資源化(1) 【 11月29日(金) 第3会場 9:30-11:15 】  
座長 土居洋一(住友建設(株))
- B 9-1 ガス化溶融スラグのアスファルト混合物への有効利用  
中部上北広域事業組合 木村大丈 (株)神戸製鋼所 二階堂宏央、高橋正光
- B 9-2 焼却灰溶融スラグのアスファルト混合物への適用性  
大成ロテック(株) 佐藤祥一、高橋光彦 NKK 勝呂洋次
- B 9-3 ごみ焼却灰溶融スラグのコンクリート用細骨材への適用に関する研究 - 実大構造試験体の施工実験への展開 -  
川崎重工業(株) 佐藤宏紀 (株)内山アドバンス 斉藤丈士 ものつくり大学 中田喜久
- B 9-4 溶融スラグの有効利用に関する基礎的検討(その1)アスファルト舗装用骨材への利用  
(株)竹中工務店 斉藤 聡 日本輔道(株) 井上武美 (株)竹中道路 永縄康広
- B 9-5 溶融スラグの有効利用に関する基礎的検討(その2)コンクリート用骨材への利用  
(株)竹中工務店 柳橋邦生、斉藤 聡、東山一勇気
- B 9-6 都市ごみ溶融スラグを用いたアスファルトの試験舗装について(第1報)  
(株)大林組 日笠山徹巳、鯛谷将司 大林道路(株) 光谷修平
- B 9-7 油バーナ式灰溶融装置運転実績及びスラグのアスファルト舗装利用試験結果報告  
川崎重工業(株) 米田章寛、松本文彬、高田芳宏
- B 1 0 溶融スラグの資源化(2) 【 11月29日(金) 第3会場 13:30-15:15 】  
座長 前野祐二(鹿児島工業高等専門学校)
- B 10-1 下水汚泥溶融パウダーの土質材料流動化材への適用検討  
ハザマ 佐々木肇、TRAN DUC PHI OANH 中外炉工業(株) 白田淳一
- B 10-2 結晶化スラグ粗骨材を用いたコンクリートの圧縮強度に関する検討  
(株)内山アドバンス 斉藤丈士、奈良禧徳 月島機械(株) 望月 淳
- B 10-3 溶融スラグによる重金属イオンの除去について(第3報)  
栃木県保健環境センター 藤田幸生 栃木県産業指導所 見目誠造 九州大学 島岡隆行
- B 10-4 鉄鋼スラグ・石炭灰を用いた硫黄固化体の耐海水性・生物着生性・耐酸性  
新日本石油(株) 秋山正成 (株)大林組 細野成一、鯛谷将司
- B 10-5 溶融スラグの品質管理に係る施設運転と試験分析の現況  
(独)国立環境研究所 大迫政浩、酒井伸一 (財)廃棄物研究財団 若松秀樹
- B 10-6 酒田地区ガス化溶融炉水砕スラグの性状と有効利用  
(株)荏原製作所 丸山眞策、斉藤 潔 酒田地区クリーン組合 成澤 実
- B 10-7 溶融スラグの有効利用状況と課題  
(独)国立環境研究所 大迫政浩、酒井伸一 (財)廃棄物研究財団 志村利夫
- B 1 1 その他有機系廃棄物の資源化 【 11月30日(土) 第6会場 9:30-11:00 】  
座長 岩淵和則(宇都宮大学)
- B 11-1 有用物質大量生産システム(昆虫工場)から回収したカイコ幼虫死骸の処理装置と選別資源の分類  
(独)農業生物資源研究所 羽賀篤信
- P 2 B 11-2 宮崎県における家畜ふんの再資源化状況に関する調査  
宮崎大学 土手 裕 (独)国立環境研究所 井上雄三、大河内由美子
- B 11-3 ブナ、スギ、雑草からの酵素加水分解によるD-キシロース生産  
岐阜大学 井戸田修、發 正浩、高見澤一裕
- B 11-4 有機性廃棄物からの乳酸回収プロセスにおける運転制御因子に関する研究  
(独)国立環境研究所 大河内由美子、三浦知美、井上雄三
- B 11-5 高リサイクル性を有する森林資源の開発における木材組織・細胞形態の迅速・非破壊分析  
九州大学 小名俊博 宇都宮大学 大島潤一、吉澤信夫
- B 11-6 ユーカリ木から調製した高収率パルプのリサイクルにおける光黄色化の促進成分の熱分解GC/MSによる解析  
科学技術振興事業団 清野晃之 九州大学 小名俊博 北海道大学 小島康夫
- B 11-7 アオコの油化によるエネルギー変換特性の解析  
茨城県科学技術振興財団 楊 瑜芳 (独)国立環境研究所 稲森悠平 筑波大学 前川孝昭
- P 1 B 11-8 広葉樹(サクラ材)の蒸煮爆砕処理による物理性的変化  
三重県科学技術振興センター 原 正之、村上圭一、小阪幸子

- P 2 B 11-9 広葉樹(サクラ材)の蒸煮爆砕処理による化学性の変化  
三重県科学技術振興センター 原 正之、村上圭一、小阪幸子
- C 1 焼却技術 【 11月28日(木) 第1会場 10:00-12:00 】  
座長 岩崎敏彦(NKK)
- P 1 C 1-1 ごみ焼却炉用電動昇降足場の開発  
三菱重工環境エンジニアリング(株) 四十万利之、川野広仲、増田 巧
- C 1-2 ごみ焼却プラント向け運転訓練装置の開発  
NKK 黒田 学、長谷川正則、横山 隆
- C 1-3 ごみ焼却炉における低空気比燃焼の実証  
(株)クボタ 石見忠之、山口尚夫、松川英次
- C 1-4 バッチ式焼却炉の非定常ごみ燃焼モデルの開発  
川崎重工業(株) 鈴木悠司 京都大学 藤原健史、武田信生
- C 1-5 可燃ごみの着火性に関する研究  
大阪府立工業高等専門学校 難波邦彦、木本恭司 新明和工業(株) 藤田永治
- C 1-6 ごみ性状にもとづく発熱量計算式の提案  
東和科学(株) 金田博晶、比嘉 博、甲斐江梨子
- C 1-7 東京二十三区清掃一部事務組合中央清掃工場ボイラ過熱器の運転実績  
山陽特殊製鋼(株) 庄 篤史 日立造船(株) 遠山一廣 東京二十三区清掃一部事務組合 櫻田和夫
- C 1-8 還流式ごみ燃焼技術実証試験  
(株)タクマ 秋山 仁、大森耕作、劉 大偉
- P 2 C 1-9 ダイオキシン類削減のための新燃焼方式小型焼却炉の開発研究  
福岡大学 大久博道 長崎大学 石橋康弘、武政剛弘
- C 1-10 次世代ストーカー炉の開発  
NKK 立福輝生、能登 隆、鈴木 実
- C 2 焼却排ガス・ダイオキシン吸着 【 11月28日(木) 第1会場 13:00-15:00 】  
座長 金岡千嘉男(金沢大学)
- C 2-1 ごみ焼却排ガスからのHCl回収技術の開発(第2報)  
(株)タクマ 太田智久 大阪市 中島 晃、松田忠芳
- C 2-2 各種吸着剤のダイオキシン類吸着特性  
愛媛大学 山下正純、本田克久、脇本忠明
- C 2-3 循環層式活性炭吸着システム(バグフィルタ式)による性能実験  
日立造船(株) 長井健一、秋田朋宣 大阪市 宮沖 隆
- C 2-4 活性炭素繊維を用いたダイオキシン除去プロセスの開発とダイオキシンの多成分固定層吸着挙動  
大阪ガス(株) 森 耕三、松井久次、山口直樹
- C 2-5 ダイオキシン分解集塵フィルターの開発  
電源開発(株) 野口嘉一 (株)シンクタンク・フェニックス 鳥山 彰 イソライト工業(株) 大塚 正
- C 2-6 酸あるいは塩基を用いて調整した活性炭によるPCBsの触媒分解  
トヨタ自動車(株) 佐々木智子 京都大学 高岡昌輝、武田信生
- C 2-7 酸処理した活性炭によるスクラバー排水処理に関する基礎的研究  
京都大学 高岡昌輝、武田信生、大下和徹
- C 2-8 循環活性炭によるダイオキシン類除去設備の最適運転条件に関する実験  
(株)タクマ 篠田高明、工藤隆行 大阪市 宮沖 隆
- C 3 ダイオキシン触媒分解・発生抑制 【 11月28日(木) 第1会場 15:15-17:00 】  
座長 上島賢郎(川崎重工業(株))
- C 3-1 排ガス中ダイオキシン類の触媒分解性能の実証  
(株)神戸製鋼所 青木 勇、高橋 円、伊藤 正
- C 3-2 酸化触媒繊維の開発と触媒バグフィルターへの適用  
住友化学工業(株) 沖 泰行、小池宏信 三菱重工業(株) 洞口光弘
- C 3-3 低温脱硝装置の開発 - 廃棄物ガス化溶融発電技術の高効率化 -  
川崎重工業(株) 渡辺大器、尾崎弘憲、藤井健一
- C 3-4 薬剤によるダイオキシン類の生成抑制ならびに分解処理実証試験結果  
(株)荏原製作所 池田 太、黒田芳喜、堤かおり
- C 3-5 排ガス中ダイオキシン類分解触媒塔の性能向上に関する研究  
三井造船(株) 稲葉利晴、神田伸靖、板谷真積
- P 1 C 3-6 複合型高温酸性ガス固定化剤によるダイオキシン抑制効果  
東洋電化工業(株) 山崎富夫、山下芳孝 (独)産業技術総合研究所 鈴木憲司

- C 3-7 有機ハロゲン濃度の総括的測定による焼却排ガス中ダイオキシン類の低減管理  
(独)国立環境研究所 川本克也 関東学院大学 今泉隆志 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭
- C 3-8 都市ごみ焼却炉における未規制重金属類の排出と廃ガス処理による除去効果 - ダイオキシン類排出抑制の施設改造における重金属の排出量の変化 -  
(独)国立環境研究所 貴田晶子、酒井伸一 (株)タクマ 芝川重博
- P 2 C 3-9 小型焼却炉ダイオキシン類簡易削減技術評価試験  
愛媛大学 山下正純、本田克久、脇本忠明
- C 4 **ダイオキシン脱塩素・分解** 【 11月29日(金) 第1会場 9:30-11:15 】  
座長 高岡昌輝(京都大学)
- C 4-1 マイエナイト(Ca<sub>12</sub>Al<sub>10</sub>Si<sub>4</sub>O<sub>36</sub>)による芳香族塩素化合物の脱塩素および燃焼触媒機能  
(独)産業技術総合研究所 藤田 悟、鈴木憲司、芝崎靖雄
- C 4-2 飛灰の脱塩素化処理におけるダイオキシン類の挙動  
川崎重工業(株) 小島 健、岡島重信、尾崎弘憲
- C 4-3 加熱脱塩素化装置の高度化  
日立造船(株) 関口善利、萩野悦生、山本常平
- P 1 C 4-4 過熱水蒸気による活性炭中ダイオキシン類の処理に関する実験  
大阪市立環境科学研究所 西谷隆司、酒井 護、福山・二
- C 4-5 ごみ焼却炉集じん灰中クロロベンゼン類の加熱分解に関する基礎的研究  
阪神水道企業団 古林祐正 北海道大学 松藤敏彦、角田芳忠
- C 4-6 飛灰中のダイオキシン類無害化のためのマイクロ波プラズマ分解装置の試作とその評価  
名古屋大学 神野真行、笹井 亮、伊藤秀章
- C 4-7 溶融処理における廃家電・廃プラスチックの有効利用とダイオキシン類縁化合物の分解効果の検証  
(株)クボタ 後藤謙治 (独)国立環境研究所 酒井伸一 (財)廃棄物研究財団 八木美雄
- C 4-8 焼却炉排ガス中のダイオキシン類の直接分解方式の開発(第2報)  
三菱電機(株) 藤原通雄、山元 寛
- C 5 **ダイオキシン生成・排出** 【 11月29日(金) 第1会場 13:30-15:30 】  
座長 竹内正雄((独)産業技術総合研究所)
- C 5-1 燃焼に伴い生成するダイオキシン類の同族体分布の変化  
(独)産業技術総合研究所 畑中健志、北島暁雄、竹内正雄
- C 5-2 飛灰組成と de novo 合成能との関係に関する研究  
京都大学 塩野敦弘、高岡昌輝、武田信生
- C 5-3 高温燃焼過程におけるダイオキシン生成濃度と熱力学的平衡計算値  
大阪大学 田邊昌幸、川端弘俊、碓井建夫
- C 5-4 有機臭素化合物の燃焼システム挙動と排出係数  
京都大学 高月 紘、大西康史 (独)国立環境研究所 酒井伸一
- C 5-5 排ガス処理過程における DXN 類の挙動と未燃炭素の関係  
東京都 古角雅行
- P 2 C 5-6 排ガス処理過程における DXN の挙動と未燃炭素の関係 ~ DXN 生成の経時変化に関する研究 ~  
東京都 古角雅行 (株)クボタ 釜田陽介
- P 1 C 5-7 排ガス処理課程における DXN の挙動と未燃炭素の関係 ~ 炭素の低温酸化への金属化合物の影響 ~  
東京都 古角雅行 (株)クボタ 倉田雅人
- C 5-8 ダイオキシン類縁化合物の抑制効果の実証的確認  
住友重機械工業(株) 江原信夫 (財)廃棄物研究財団 八木美雄 (独)国立環境研究所 酒井伸一
- C 5-9 RDF の流動床燃焼における有害成分排出特性(その7)  
立命館大学 吉井 唯、石橋憲明、吉原福全
- C 5-10 ダイオキシン類の削減対策とその類縁化合物排出に関する調査研究  
(株)タクマ 松本暁洋 (独)国立環境研究所 貴田晶子、酒井伸一
- C 6 **ダイオキシン測定・分析** 【 11月30日(土) 第1会場 9:30-11:30 】  
座長 浅田正三((財)日本品質保証機構)
- C 6-1 燃焼イオンクロマトグラフィーによる焼却飛灰中のハロゲン化ダイオキシン類縁化合物の特性解析  
横浜国立大学 三宅祐一、加藤みか、浦野紘平
- C 6-2 ごみ焼却炉排ガス中半疎水性成分(クロロフェノール類)の簡易採取分析法に関する研究  
新日本製鐵(株) 堺 裕三 北海道大学 田中信壽、松藤敏彦
- P 2 C 6-3 排ガス中総有機ハロゲン化合物定量のためのバリエー放電ラジオ波ヘリウムプラズマ発光分析法の開発  
京都大学 渡辺信久、高月 紘、村谷陽子
- C 6-4 指標異性体を用いたダイオキシン類の迅速測定法  
(株)島津テクノリサーチ 柴山 基、井上 毅、高菅卓三



- C 6-5 ダイオキシン類分解微生物の反応条件をスクリーニングする ELISA 試験  
東京慈恵会医科大学 保科定頼 北海道大学 古市 徹 大塚製薬(株) 小平 司
- C 6-6 イムノアッセイ法を利用した改修工事作業環境のダイオキシン類迅速測定について  
千葉県環境研究センター 半野勝正、依田彦太郎、原 雄
- C 6-7 排ガス中の有機ハロゲン化合物の連続測定について  
電源開発(株) 名久井博之 トヨタ自動車(株) 架谷武宏 立命館大学 石橋憲明
- P 1 C 6-8 燃焼管理指標としての排ガス中 TOX に関する調査研究  
京都大学 渡辺信久 大阪市立環境科学研究所 高倉晃人、福山・二
- C 6-9 レーザイオン化 TOFMS 法のガス中 PCB モニタリングへの適用  
三菱重工業(株) 吉良雅治、 出口祥啓、土橋晋作
- C 6-10 産業廃棄物焼却施設排ガス中の臭素系ダイオキシン類調査  
大阪市立環境科学研究所 酒井 護、西谷隆司、福山・二

C 7 ガス化溶融 【 11月28日(木) 第2会場 13:00-15:00 】

座長 金子充良(株)荏原製作所)

- C 7-1 豊橋市資源化センターのガス化溶融炉と主要機器のスケールアップ(熱分解ドラム、燃焼溶融炉、廃熱ボイラ)  
三井造船(株) 木内英洋、小笠原徹、 島野健一
- P 2 C 7-2 キルン式ガス化溶融炉 運転訓練シミュレータの開発  
三井造船(株) 宮地 健、塚田俊美、稲見昭一
- C 7-3 高発熱量廃棄物の流動床式ガス化溶融  
(株)神戸製鋼所 多田俊哉、高橋正光、 梶原康司
- C 7-4 流動床ガス化溶融施設による都市ごみ処理  
酒田地区クリーン組合 成澤 実 (株)荏原製作所 金子充良、川口光夫
- C 7-5 廃棄物ガス化溶融設備(ガス化改質方式)による産業廃棄物処理  
川崎製鉄(株) 杉浦啓之、三好史洋、行本正雄
- C 7-6 廃棄物ガス化溶融設備からの熱分解ガスによるガスエンジン運転状況  
川崎製鉄(株) 尾前純也、小沢 昇、清水益人
- C 7-7 廃棄物ガス変換システム解析プログラムの開発  
川崎重工業(株) 熊田憲彦、藤井健一 (財)エネルギー総合工学研究所 浅見直人
- C 7-8 高温空気・水蒸気を用いた分散型廃棄物ガス化発電システムの発電特性  
(株)エコミート・ソリューションズ 松原弘直 東京工業大学 吉川邦夫 新興プランテック(株) 原 勉
- P 1 C 7-9 熱分析を用いた一般廃棄物の熱分解挙動のモデル化の検討  
長岡技術科学大学 弥富洋介、姫野修司、小松俊哉
- C 7-10 廃棄物処理システムにおける防災に関する研究 - 破砕ならびに熱分解処理における着火抑制 -  
早稲田大学 永田勝也、納富 信、 金井郁恭

C 8 焼却灰溶融 【 11月28日(木) 第2会場 15:15-17:15 】

座長 河邊安男((財)日本環境衛生センター)

- C 8-1 都市ガス焚灰溶融技術  
日立造船(株) 百田 秀、佐々木邦夫、関口善利
- C 8-2 酸素バーナ加熱反転式灰溶融炉の運転状況報告  
南佐渡クリーンセンター 福井兵一 中外炉工業(株) 金子 保、谷口美希
- C 8-3 表面溶融炉の運転実績  
(株)タクマ 吉本 聡、芝野伸二
- C 8-4 灰溶融炉排ガスの高温除塵技術  
NKK 明石哲夫、勝呂洋次、平岡英伸
- C 8-5 廃棄物溶融スラグのアベイラビリティと酸中和容量(ANC)  
京都大学 水谷 聡、高月 紘 (独)国立環境研究所 貴田晶子
- P 2 C 8-6 多変量解析による溶融スラグ中の元素と溶融形式の関係について  
京都大学 水谷 聡 秋田工業高等専門学校 肴倉宏史 (独)国立環境研究所 貴田晶子
- P 1 C 8-7 溶融スラグ中の銅および亜鉛の結合状態  
京都大学 高岡昌輝、武田信生 東京大学 山本 孝
- C 8-8 紙燃焼灰の溶融化処理における環境的評価  
科学技術振興事業団 中澤克仁 東海大学 片山恵一 東京大学 安井 至
- C 8-9 独立溶融式の飛灰混合溶融スラグ成分への適用  
東京都立産業技術研究所 白子定治 東京二十三区清掃一部事務組合 曾山照明
- C 8-10 灰溶融プラントにおける付着物形成に関わる融液相の役割  
三菱重工業(株) 安井一雄 京都大学 高岡昌輝、武田信生

C 9 焼却灰安定化 【 11月29日(金) 第2会場 9:30-11:30 】

座長 水谷聡(京都大学)

- C 9-1 人工的土壌生成因子の作用に伴う焼却残渣の鉛不溶化現象  
九州大学 中野彰子、崎田省吾、島岡隆行
- C 9-2 セメント固化の前処理としての炭酸化によるセメント削減と長期的溶出抑制効果の検討  
宮崎大学 縄田大輔、土手 裕
- C 9-3 焼却残渣・不燃破砕残渣混合理立物中重金属の溶出抑制処理法の研究  
NKK 木村陽介 北海道大学 金 相烈、田中信壽
- C 9-4 アスファルト・硫黄・水酸化カルシウムを用いた飛灰中重金属の無害化処理  
名古屋大学 澤田佳代、松田仁樹 出光興産(株) 水谷 眞
- C 9-5 キレート処理飛灰中鉛化合物の分解可能性に関する研究  
秋田工業高等専門学校 肴倉宏史 長岡技術科学大学 川又勇也
- C 9-6 焼却灰溶液の保持形態と重金属の溶出機構に関する研究  
九州大学 大渡俊典、崎田省吾、島岡隆行
- C 9-7 溶融飛灰の塩酸含浸・加熱処理による重金属揮発分離  
新東工業(株) 高田 満、中山勝也 名古屋大学 松田仁樹
- P 2 C 9-8 焼却飛灰の遠心脱水による安定化処理  
ドリコ(株) 内川一夫 福岡大学 宮脇健太郎 九州大学 島岡隆行
- C 9-9 リバーニング処理による飛灰中の重金属の溶出抑制  
東京農工大学 堀尾正靱、成 昊鎮 栗田工業(株) 伊藤一郎
- P 1 C 9-10 高アルカリ溶融飛灰の処理システムの検討(その2)  
栗田工業(株) 松本克美 新東工業(株) 高田 満 九州大学 島岡隆行
- P 2 C 9-11 (焼却・溶融)飛灰の安定化方法[第1報]  
大同特殊鋼(株) 志村 進、広瀬秀志 (医)宏潤会大同病院 長尾文隆

C 1 0 飛灰の性状 【 11月29日(金) 第2会場 13:30-15:15 】

座長 貴田晶子((独)国立環境研究所)

- C 10-1 X線光電子分光による石炭飛灰および廃棄物焼却飛灰の分析  
鹿児島大学 大木 章、隈部康誉、高梨啓和
- C 10-2 溶融飛灰の鉱物モデル化およびZnとPbの結晶相  
千葉県環境研究センター 原 雄、山崎康廣 早稲田大学 堤 貞夫
- C 10-3 ごみ焼却飛灰中の水銀の化学結合状態  
京都大学 高岡昌輝、武田信生 NKK 山本 浩
- C 10-4 薬剤および加熱処理による飛灰中重金属の安定化とその化学形態の同定  
(株)タクマ 村上建彦 京都大学 高岡昌輝、武田信生
- C 10-5 データベースを用いた主灰の元素組成に関する影響要因解析  
東京工業大学 北村光太郎 (独)国立環境研究所 大迫政浩、金 容珍
- C 10-6 異種廃棄物中の金属類の揮発損失及び溶出性に与える焼却温度の影響  
名古屋大学 張 付申、伊藤秀章
- C 10-7 RDFの流動床炉燃焼灰の水和特性に関する基礎的考察  
電源開発(株) 三宅淳一、櫻井隆喜、椎屋光昭

D 1 埋立地浸出水 【 11月28日(木) 第4会場 10:00-11:30 】

座長 土手裕(宮崎大学)

- D 1-1 海面埋立処分場から発生する余水の高度処理に関する基礎的研究  
神鋼パテック(株) 尾家俊康 (財)岡山県環境保全事業団 中平徹也 岡山大学 田中 勝
- D 1-2 産業廃棄物安定型最終処分場における硫化水素発生及び水質汚濁  
長崎県 赤木 聡、中村保高 福岡大学 長野修治
- D 1-3 廃棄物埋立地における石炭灰利用に関する研究(2)  
九州電力(株) 坪田晃誠 福岡大学 立藤綾子 福岡市 久保倉宏一
- D 1-4 凝集剤添加型膜分離活性汚泥による浸出水処理システムの検討  
アタカ工業(株) 宮前博子、八巻昌宏、李 玉友
- D 1-5 産業廃棄物中間処理施設の排水を対象とした促進酸化法に関する基礎的検討  
呉羽環境(株) 福田弘之、沼崎幸彦 呉羽テクノエンジ(株) 松岡 毅
- D 1-6 UV-FF/オゾン法による浸出水中のダイオキシン類分解除去  
(株)タクマ 松田由美 福岡大学 松藤康司 (財)廃棄物研究財団 西山隆敏

D 2 埋立地しゃ水 【 11月28日(木) 第4会場 13:00-15:00 】

座長 川口光雄(株奥村組)

- P 1 D 2-1 アスファルトコンクリートによるしゃ水工の斜面部への適用  
(株大林組 柴田健司、光本 純 大林道路(株) 堀 浩明
- D 2-2 ジオシンセティッククレイライナー(GCL)の電解質溶液に対する遮水性能  
京都大学 勝見 武 立命館大学 小河篤史、深川良一
- D 2-3 締固めたベントナイト混合土の性能と品質評価手法に関する研究  
(株ホージュン 水野克己 (財)地域地盤環境研究所 藤原照幸 京都大学 嘉門雅史
- P 2 D 2-4 2割勾配におけるベントナイト混合土施工法の研究  
大成建設(株) 衛藤英三 (株ホージュン 水野正之 アキュテック(株) 川村雄一
- D 2-5 ベントナイト混合土の強度特性を考慮した一般廃棄物管理型最終処分場事例  
(株ホージュン 水野克己、岡田朋子 (財)地域地盤環境研究所 本郷隆夫
- D 2-6 アスファルト混合物によるしゃ水工に関する研究(その5) - 水密性アスファルト混合物の敷き均し、締固め温度がしゃ水性に及ぼす影響 -  
(株大林組 柴田健司、石田道彦 大林道路(株) 堀 浩明
- P 1 D 2-7 埋立地浸出水水平排水材(ジオシンセティックス)の透水性能に関する研究  
(株タクマ 廣川有司 北海道大学 田中信壽、東條安匡
- D 2-8 土木遮水シートの実用耐震実験研究報告  
ゼオン環境資材(株) 近藤三樹郎 国土技術政策総合研究所 諸星一信 山水産業(株) 永治勇吉
- D 2-9 埋立による遮水シートの引き込み力の評価  
東洋ゴム工業(株) 坪井正行 八千代エンジニアリング(株) 宇佐見貞彦 宇都宮大学 今泉繁良
- D 2-10 保護マットの組合せ順序と遮水シート貫入抵抗の関係について  
東洋ゴム工業(株) 宮地秀樹 宇都宮大学 今泉繁良、吉直卓也
- D 2-11 フラットバーを用いたHDPE 遮水シートの固定に関する基礎的実験  
宇都宮大学 今泉繁良、前川原貴

D 3 埋立地安定化(1) 【 11月28日(木) 第4会場 15:15-17:15 】

座長 宮脇健太郎(福岡大学)

- D 3-1 埋立地表面における地温とメタンフラックスの関係(2)  
(独)国立環境研究所 山田正人、石垣智基 埼玉県環境科学国際センター 長森正尚
- P 2 D 3-2 最終処分場の硫化水素対策と発生原因物質の究明  
福岡大学 武下俊宏、樋口壯太郎 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
- D 3-3 最終処分場における硫化水素対策 - 含鉄土壌による覆土 -  
埼玉県環境科学国際センター 小野雄策、康 躍恵 日本工業大学 佐藤茂夫
- D 3-4 廃棄物処分場における汚泥バリアの透気性とガス抜き管の圧力低減効果  
京都大学 嘉門雅史、稲積真哉、勝見 武
- D 3-5 既埋立焼却残渣中の塩分の性状について  
麻生セメント(株) 松田賢士、蓑原伸二 九州大学 島岡隆行
- D 3-6 海水中における焼却残渣の沈降・堆積過程について  
九州大学 古賀大三郎、島岡隆行、崎田省吾
- D 3-7 覆土膜構造を有する埋立地の安定化に関する研究  
九州大学 堀 直子、崎田省吾、島岡隆行
- D 3-8 海面埋立層内における焼却灰含有汚濁成分の分配に関する研究  
九州大学 崎田省吾、島岡隆行 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
- D 3-9 管理型最終処分場の廃止基準に関する考察(1)  
埼玉県環境科学国際センター 長森正尚、河村清史 (独)国立環境研究所 山田正人

D 4 埋立地安定化(2) 【 11月29日(金) 第4会場 9:30-11:15 】

座長 井上雄三((独)国立環境研究所)

- D 4-1 破碎不燃ごみ中の有機汚濁成分の短期溶出挙動に関する研究  
北海道大学 土師賢之、古市 徹、石井一英
- D 4-2 スパイラル式湿式洗浄設備による廃棄物洗浄  
福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝 福岡大学 樋口壯太郎 (株)神戸製鋼所 谷岡 隆
- D 4-3 閉鎖型最終処分場における埋立廃棄物の安定化に関する研究(その4)  
三井鉱山(株) 菊地 理 (株)フジタ 矢島 聡
- D 4-4 埋立前処理と被覆型最終処分場における焼却灰の安定化促進について  
(株)熊谷組 亀山敏治、伊藤 洋
- D 4-5 散水による廃棄物の安定化に関する実証研究  
(株)横河ブリッジ 永田 考、小櫻義隆 福岡大学 樋口壯太郎

- D 4-6 クローズドシステム処分場の安定化促進方策としての散水 - 洗い出しモデルの提案  
北海道大学 石井一英、古市 徹、本間隆紀
- D 4-7 クローズ型処分場における廃棄物中汚濁物質の洗い出し実験  
福岡大学 柳瀬龍二 (株)福田組 小日向隆 清水建設(株) 小宮山由起江
- D 5 埋立地モニタリング 【 11月29日(金) 第4会場 13:30-15:15 】  
座長 長森正尚(埼玉県環境科学国際センター)
- D 5-1 最終処分場台帳の電子化および周辺環境情報のGISによる活用事例  
(独)国立環境研究所 井上雄三、山田正人 (株)日水コン 今田俊彦
- D 5-2 廃棄物最終処分場管理のためのリモートセンシング技術の適用に関する検討  
九州大学 中山裕文、島岡隆行 応用地質(株) 大野博之
- D 5-3 比抵抗探査から解明される廃棄物層の内部状況  
千葉県環境研究センター 香村一夫、原 雄 千葉県 海老原昇
- D 5-4 最終処分場浸出水による地下水汚染の監視指標について  
神奈川県環境科学センター 福井 博
- D 5-5 最終処分場覆土におけるメタン酸化細菌群の生態学的評価  
(独)国立環境研究所 石垣智基、山田正人、井上雄三
- D 5-6 廃棄物最終処分場における植物・土壌動物の特性について  
(独)国立環境研究所 山田正人 埼玉県環境科学国際センター 小野雄策 (株)応用生物 谷川俊治
- D 5-7 埋立廃棄物が地表面温度に与える影響について  
九州大学 小宮哲平、中山裕文、島岡隆行
- D 6 埋立地における化学物質の挙動 【 11月29日(金) 第5会場 13:30-15:15 】  
座長 石井一英(北海道大学)
- D 6-1 『平成13年度廃棄物学会論文賞』受賞者講演 「最終処分場におけるダイオキシン類の挙動」  
(独)国立環境研究所 野馬幸生
- D 6-2 埋立廃棄物層内における内分泌かく乱物質の収着に関する研究  
北海道大学 朝倉 宏、中津隆文、田中信壽
- D 6-3 廃棄物処分場浸出水およびその処理過程で検出されるビスフェノールAの調査  
東京工業大学 浦瀬太郎、宮下健一郎
- D 6-4 廃棄物埋立地浸出水および処理水中の無機成分、ジオキサン、フェノール類およびフタル酸エステル類の濃度  
(独)国立環境研究所 安原昭夫、井上雄三 日本環境(株) 行谷義治
- D 6-5 埋め立てられた薬剤処理飛灰の浸出水への影響および長期安定性  
福岡大学 宮脇健太郎 九州大学 島岡隆行 栗田工業(株) 内田敏仁
- D 6-6 埋立処分場における臭素系難燃剤の浸出および処理特性  
(独)国立環境研究所 大迫政浩、金 容珍、酒井伸一
- D 6-7 最終処分場におけるダイオキシン類の挙動および微生物分解の可能性  
福岡大学 鈴木慎也、松藤康司 (財)廃棄物研究財団 八木美雄
- D 7 バイオモニタリング 【 11月30日(土) 第4会場 9:30-11:15 】  
座長 木苗直秀(静岡県立大学)
- D 7-1 最終処分場浸出水のリスク早期警戒システムの構築 - 生物試験の可能性 -  
(独)国立環境研究所 毛利紫乃、山田正人、井上雄三
- D 7-2 生物を用いた最終処分場排水中未規制物質の生態モニタリングシステムに関する研究(1)  
熊本県立大学 田中麻記子 長崎大学 石橋弘志 熊本県立大学 深津和彦
- D 7-3 最終処分場浸出水処理過程における生態毒性低減効果  
山梨大学 金子栄廣、清水重樹
- D 7-4 最終処分場浸出水のバイオアッセイ強度の共通尺度による比較  
神奈川県環境科学センター 吉野秀吉
- D 7-5 貝類を用いた埋立地浸出水のモニタリング  
富山県立大学 楠井隆史、中島さやか 長崎大学 八幡洋美
- P 1 D 7-6 ヒメダカ(Oryzias Latipes)卵の水道水暴露における卵膜軟化現象  
熊本県立大学 田中麻記子 水俣環境テクノセンター 高橋 徹
- D 7-7 処分場浸出水の安全性評価にヒメダカのバイオマーカーは適用できるか?  
岡山大学 尾崎夏栄、小野芳朗 Duke University, NSOE & ES 柏田祥策
- D 7-8 金魚を用いた変異原物質のバイオモニタリング法の確立  
静岡県立大学 木苗直秀、増田修一、出口雄也

- E 1 PCB処理 【 11月28日(木) 第2会場 10:00-12:00 】  
座長 小野 雄策(埼玉県環境科学国際センター)
- E 1-1 PCB脱塩素化反応速度に及ぼす水素供与体の効果  
神鋼パンテック(株) 井出昇明、小倉正裕、川井隆夫
- P 2 E 1-2 触媒水素化脱塩素化法でのPCB分解機構  
(株)関西テック 大野正之、八木富士夫、池田 勝
- E 1-3 鉄化合物によるPCBs分解機構の解明  
(株)クボタ 飼沼正志 京都大学 高岡昌輝、武田信生
- P 1 E 1-4 高濃度PCB入電気機器の無害化処理  
(株)関西テック 八木富士夫、渡部洋志、高光繁和
- P 2 E 1-5 PCB入り蛍光灯安定器の無害化処理  
(株)関西テック 田村義隆、本田昭洋
- E 1-6 廃PCBの光分解メカニズムに関する検討  
(株)東芝 村松武彦 (株)関西テック 大野正之 (独)国立環境研究所 野馬幸生
- E 1-7 PCB分解における光反応及びパラジウム・カーボン触媒反応の違いについて  
(独)国立環境研究所 野馬幸生 (株)関西テック 大野正之 (株)東芝 村松武彦
- E 1-8 洗浄法によるPCB汚染物の処理  
(株)東芝 豊田寛子、安藤末雄、西澤克志
- E 1-9 ジオメルト法によるPCB汚染物の無害化処理  
宇部興産(株) 太田幹夫、 田野龍海
- E 1-10 界面活性剤を使用した浮選による都市ごみ焼却飛灰中のPCBs除去に関する研究  
京都大学 黄 瑛、高岡昌輝、武田信生
- E 1-11 プラズマ熱分解再処理システムによるPCB使用電気機器および廃PCB等の実証試験結果について  
日商岩井プラント機器(株) 所司邦弘、波多野博、森田 公
- E 2 ダイオキシン微生物分解/土壌・地下水汚染 【 11月28日(木) 第3会場 13:00-15:00 】  
座長 安原昭夫((独)国立環境研究所)
- P 1 E 2-1 ダイオキシン分解菌の18S rDNA解析による菌種の同定とDF分解生成物の検討  
北海道大学 小池啓太、古市 徹、石井一英
- E 2-2 土壌中ダイオキシン類の微生物分解条件に関する基礎的研究 - 培地成分とリアクターの攪拌条件の検討 -  
北海道大学 長田志乃、石井一英、古市 徹
- E 2-3 飛灰混じり土壌中ダイオキシン類の微生物分解条件と阻害要因に関する研究  
東和科学(株) 舟田卓見 北海道大学 古市 徹、石井一英
- E 2-4 ダイオキシン分解菌からの無塩化ダイオキシン分解酵素の精製に関する研究  
(株)建設技術研究所 山形英生 北海道大学 古市 徹、石井一英
- E 2-5 白色腐朽菌を用いた開放系バイオリアクターによるダイオキシン類分解除去実験  
(株)タクマ 福里 豊、平尾知彦、芹澤佳代
- P 2 E 2-6 混合系微生物による各種ダイオキシンの分解について  
神奈川県環境科学センター 惣田昱夫 北海道大学 古市 徹、石井一英
- E 2-7 白色腐朽菌培養濃縮液を用いた飛灰中のダイオキシン類の分解  
大成建設(株) 斎藤祐二、川又 睦、万字角英
- P 1 E 2-8 BCD法によるダイオキシン類汚染土壌の処理試験  
(株)荏原製作所 柏木誠司、戸田久之、高田 誠
- E 2-9 環境修復事業における浸出水・地下水の高度排水処理施設について  
(株)クボタ 堀井安雄、米津雄一、佐々木智彦
- E 2-10 種々の油汚染土壌における磨砕処理の浄化性能について  
(株)熊谷組 渡辺輝文、川口謙治、伊藤 洋
- P 2 E 2-11 クエン酸を用いた汚染土壌からの重金属抽出処理の促進法  
国際科学振興財団 古川 真 (独)産業技術総合研究所 徳永修三
- E 2-12 重金属類汚染土壌の固化・不溶化処理に関する検討  
(株)鳩池組 大山 将 山田技術士事務所 山田哲司 京都大学 嘉門雅史
- E 3 土壌・地下水汚染 【 11月28日(木) 第3会場 15:15-17:15 】  
座長 鍵谷司(環境計画センター)
- E 3-1 還元加熱脱塩素法+金属Na分散体法によるPCB汚染土壌処理試験  
神鋼パンテック(株) 小倉正裕、井出昇明、川井隆夫
- E 3-2 地下水中トリクロロエチレンの促進酸化法による浄化処理  
アタカ工業(株) 船石圭介、塩谷隆亮、李 玉友

- P 1 E 3-3 高密度電気探査を利用した廃棄物由来の土壌・地下水汚染調査  
(株)建設技術研究所 和田卓也 北海道大学 石井一英、古市 徹
- P 2 E 3-4 廃棄物に起因する汚染現場への三次元地下水数値解析手法の適用  
(株)三水コンサルタント 小林哲也 北海道大学 古市 徹、石井一英
- P 1 E 3-5 GIS を活用した土壌・地下水汚染データ管理システムの実践的活用  
東和科学(株) 森下兼年 北海道大学 古市 徹、石井一英
- E 3-6 汚染地盤浄化技術の評価法としてのレスキュー・ナンバーの適用  
名古屋大学 井上 康、片山新太
- P 2 E 3-7 廃棄物に起因する土壌・地下水汚染の修復プロセス選択方法  
(株)クボタ 鈴木隆弘 (株)大林組 小谷克己 北海道大学 古市 徹
- E 3-8 廃棄物由来の土壌・地下水汚染対策のための住民参加型修復技術選択手法の提案  
北海道大学 佐藤雄大、古市 徹、石井一英
- E 3-9 環境修復事業におけるリスク・コミュニケーションについて  
西武建設(株) 三村 卓
- E 3-10 滋賀県栗東市の産業廃棄物最終処分場周辺における水質汚染調査 - 電気伝導率による簡易水質調査事例 -  
応用地質(株) 前田伊瑞実 同志社大学 中川要之助、横山卓雄
- P 1 E 3-11 滋賀県栗東市経堂池水生生物調査  
同志社大学 井上泰江、楠田純子、横山卓雄
- E 3-12 滋賀県栗東市安定型産業廃棄物処分場の地下水に含まれる塩化物イオンと硫酸イオン  
同志社大学 横山卓雄、松田健慈 京都大学 森 朋子
- E 4 有害性試験 【 11月29日(金) 第5会場 9:30-11:15 】  
座長 田崎智宏((独)国立環境研究所)
- E 4-1 欧州規格 prEN12457 のわが国廃棄物への適用性について  
(財)岡山県環境保全事業団 中平徹也、築谷淳志 岡山大学 田野崎隆雄
- E 4-2 廃棄物の性状分析における VOC 溶出試験の迅速化に関する検討  
長野県衛生公害研究所 細井要一 (財)長野県廃棄物処理事業団 小口雄平、山本一海
- P 2 E 4-3 疎水性有機汚染物質の溶出試験における誤差誘発因子に関する検討(2) - 固液分離方法を中心に -  
(独)国立環境研究所 金 容珍、大迫政浩
- P 1 E 4-4 都市ごみ焼却飛灰、溶融スラグ及び溶融飛灰からの金属類の溶出挙動  
京都大学 水谷 聡、竹内和樹、橋本 健
- E 4-5 錯イオンの形成による焼却灰からの重金属の溶出  
岡山大学 戸田吉則、山田亜矢、小野芳朗
- E 4-6 中和滴定曲線から見た都市ごみ焼却残渣の酸中和容量(ANC)について  
川崎製鉄(株) 幸正仁昭 京都大学 水谷 聡、高月 紘
- E 4-7 新規船底防汚剤 Irgarol1051 の毒性及び bioavailability 評価  
岡山大学 関口幹周、小野芳朗 神戸商船大学 岡村秀雄
- E 4-8 最終処分場における重金属の in vitro スクリーニング試験による bioavailability 評価  
岡山大学 山田亜矢、小野芳朗 (独)国立環境研究所 貴田晶子
- E 4-9 環境基準項目物質混合液を用いたバイオアッセイアクションレベルの設定  
東京大学 酒井康行、中戸秀樹、藤井隆夫
- P 2 E 4-10 処理排水中の変異原性物質生成に関するモデル研究  
(独)国立環境研究所 中島大介、江副優香、後藤純雄
- E 5 有害廃棄物処理 【 11月30日(土) 第5会場 9:30-11:15 】  
座長 福井博(神奈川県環境科学センター)
- E 5-1 O<sub>3</sub> AOP 処理による環境ホルモン類、ダイオキシン類分解に関する研究  
(株)荏原製作所 中川創太、田中俊博、中村寿実
- E 5-2 水銀含有廃棄物としての蛍光管の特性と水銀分離回収方法に関する研究  
横浜国立大学 堀 雅宏、千葉昇平、畑 慎一
- E 5-3 アコヤ貝殻による金属イオンの除去  
三重県科学技術振興センター 吉岡 理、男成妥夫、高橋正昭
- E 5-4 クレオソート処理廃木材中多環芳香族炭化水素とその燃焼挙動  
京都大学 浅利美鈴、松枝 孝 (独)国立環境研究所 酒井伸一
- E 5-5 ジオメルト法による POPs 農薬の無害化  
宇部興産(株) 太田幹夫、寺田隆彦 (株)間組 木川田一弥
- E 5-6 エネルギー型断熱材フロン破壊処理システムの構築  
同和鉱業(株) 山口潔實 同和クリーンテックス(株) 武正圭史 (株)エコリサイクル 将積一夫
- E 5-7 ハロン 2402 の焼却分解について  
呉羽環境(株) 福田弘之、伊藤正憲 深田工業(株) 日下部豊和

- P 1 E 5-8 廃棄物焼却炉内でのフロン分解挙動のモデル解析  
横浜国立大学 加藤みか、浦野紘平
- F 1 International session(1) 【 Friday, November 29 Room No.9 9:30-10:30 】
- F 1-1 Study on combustion characteristics of Meat Meal and Meat Bone Meal using Circulating Fluidized Bed  
Yukinobu OTSUKA, Hirohiko TOKUNAGA, Ryutaro FUKUSIMA, Hitachi Zosen Co.,Ltd
- F 1-2 Distribution of PCDDs/DFs in wet scrubbing water from waste incinerators  
Jong-Won HEO, Ki-in CHOI, Dong-Hoon LEE, The University of Soul
- F 1-3 A case study on the characterization of humic substances generated from incineration residue  
Yongjin KIM, Masahiro OSAKO, National Institute for Environmental Studies
- F 1-4 Effect of PE, PP and PS addition during HIPS-Br pyrolysis and fate of bromine, antimony oxide  
Thallada BHASKAR, Yusaku SAKATA, Akinori MUTO, University of Okayama
- F 2 International session(2) 【 Friday, November 29 Room No.9 10:40-11:40 】
- F 2-1 Sustainable Agriculture based on Carbonization from Waste Products  
Yoshiyuki SHINOGLI, National Institute for Rural Engineering
- F 2-2 The evaluation of daily cover with the fly ash / paper sludge in the landfill  
Sang-Hyun PARK, Jai-Young LEE, The University of Seoul
- F 2-3 The study of acidogenic fermentation using specific industrial waste sludge  
Dong-Yueb HAN, Tae-Kyu EOM, The University of Kyungsoo
- F 2-4 Control of toxic chemicals in the sludge using low temperature thermal treatment  
Weon Joon LEE, Yosoo National University  
Oh Sub YOON, Hanbat National University
- F 3 International session(3) 【 Thursday, November 28 Room 157 17:30-18:30 】
- P 1 F 3-1 Evaluation of Municipal Solid Waste Management in Suita City  
Yabar Helmut FRIEDRICH, Tohru MORIOKA, University of Osaka
- P 1 F 3-2 Removal of benzene by the scrap tire-compost biofilter  
Dong-Ik OH, Jae Young KIM, Kyoungphile NAM, Seoul National University
- P 1 F 3-3 Catalytic degradation for oil recovery from waste thermoplastic polymer mixtures containing HDPE over spent FCC catalyst  
Kyong-Hwan LEE, Dae-Hyun SHIN, Korea Institute of Energy Research  
Younghwa SEO, Suwon Science College
- P 1 F 3-4 Gasification of sewage sludge and combustible wastes in a fluidized bed reactor  
Gang-Soo LEE, Jae-Jeoung LEE, Sung-Keun BAE, Changwon National University
- P 1 F 3-5 A feasibility study to improve the combustibility of sewage sludge  
Ho-Soo LEE, Guang-Zhu JIN, Sung-Keun BAE, Changwon National University
- P 1 F 3-6 Laboratory evaluation of co-digestion with sewage sludges and food wastes pretreated in acidogenic fermentation process for mixing ratio and HRT  
Ohul-Woong KIM, Sung-Hwan KWON, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- P 1 F 3-7 The characteristics of desiccation with soil-bentonite mixed liners in the landfill  
Sung-Hun JUNG, Jai-Young LEE, The University of Seoul
- F 4 International session(4) 【 Friday, November 29 Room 157 11:45-12:45 】
- P 2 F 4-1 Actual Situation of the Solid Waste Management(SWM) in Panama  
Anel ROBERTS, Takayuki SHIMAOKA, University of Kyushu
- P 2 F 4-2 Analysis of PCBs and CBzs in Solid Samples by Microwave-Assisted Extraction  
Yifei SUN, Masaki TAKAOKA, Nobuo TAKEDA, University of Kyoto
- P 2 F 4-3 Estimation of PCDDs/PCDFs emission from municipal solid waste incineration facilities in Korea  
Soo-Jeong KIM, Jae-Hyo LEE, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- P 2 F 4-4 PCDDs/DFs distributions in leachates from MSW landfills in Korea  
Ki-in CHOI, Dong-Hyuk CHOI, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- P 2 F 4-5 PCDDs/PCDFs formation at the cooling system of medium size incineration systems in Korea  
Sang-Yee HAM, Jae-Hyo LEE, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- P 2 F 4-6 Analysis of Chemical Equilibrium in Congener Patterns of PCDD/Fs  
Annisa BHIKUNING, Noriaki ISHIBASHI, Yoshinobu ISHIBASHI, University of Ritsumeikan
- P 2 F 4-7 Comparison of PCDDs/PCDFs congener patterns in stack emissions, ambient air, and soil using multivariate analysis  
Min-Yong KIM, Jae-Hyo LEE, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul

# 廃棄物学会研究発表会 発表ガイドライン

## 《口頭発表ガイドライン》

1. 登壇者であっても参加費（論文集代込み）は必要です。
2. 講演時間に遅刻した場合は発表できないことがあります。
3. 論文受付時点で申請した登壇者を変更する場合は、大会2日前までに廃棄物学会事務局論文受付係（fax.03-3769-1492）までFAXにて届け出て下さい。ただし、他に登壇予定がある発表者への変更は認められません。
4. 1発表の講演時間は、発表10分、質疑応答5分の計15分です。時間を超過した場合には、発表の途中で座長に打ち切られることがあります。
5. OHPを使用し、聴衆者に良く理解されるような発表を行って下さい。
6. OHPは、1cm角以上の文字で単純なグラフ、スケッチを用いてシンボリックな表記をして下さい。

## 《ポスター発表ガイドライン》

ポスター発表は、2日に分けて行われます（ポスター発表1は1日目、ポスター発表2は2日目）。また、優れたポスターに対して、優秀ポスター賞を設けています。2日目の懇親会において、発表及び表彰を行いますので、力作を持ってご参加下さい。

1. ポスターの貼付、発表及び撤収時間はそれぞれ以下のとおりです。

貼付：11月28日 10:00～13:00

発表

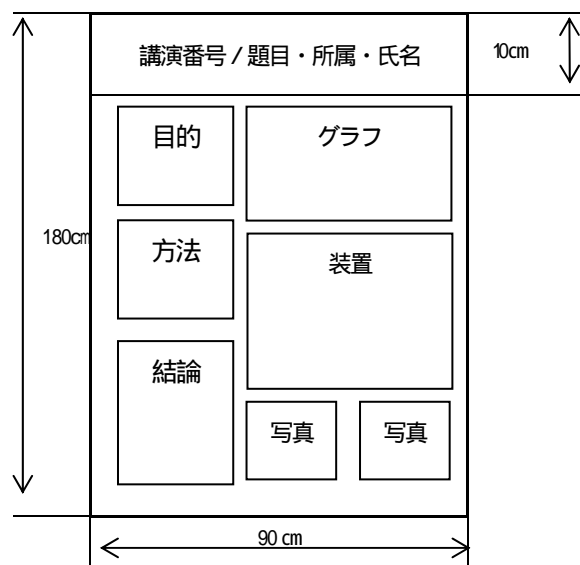
ポスター発表1 - 11月28日 17:30-18:30

ポスター発表2 - 11月29日 11:45-12:45

撤収：11月30日 11:00～12:00

（撤収時間を過ぎた場合には、会場スタッフがポスターを撤収・廃棄します）

2. 発表者は、ポスター貼付前に会場受付にて到着した旨を伝え、発表者リボンを受け取り、注意事項を聞く。
3. 発表者は発表時間の間は、ポスターの前で説明を行う。
4. 論文1件あたりのパネルの大きさは、タテ180cm×ヨコ90cmなので、その範囲内に収まるようにポスターを作成する（図面やグラフなどをパネルに直接貼り付けても可）。ただし、パネルの最上部には、講演番号、題目、所属、氏名を記入した10cm×90cmの用紙を必ず貼ること。
5. パネルへの貼り付けには画鋲、押しピン、マジックテープ等が使用可能であるが、両面テープは使用不可とする。
6. ポスターの理解度を深めるために、実験サンプルやアルバムを持ち込むことは、かさばらなければ可とする。ただし、ビデオ、パソコン等電源を必要とするものは不可とする。また、商品宣伝の意図を強く出した内容のものも不可とする。



【ポスター作成例】



# 廃棄物学会研究発表会 優秀発表の表彰について

年会委員会

## 優秀ポスター賞

目的：優秀なポスター発表を表彰することで、研究発表会を活性化し、参加意欲の向上を図る。

審査員：廃棄物学会役員、常設委員会委員、年会実行委員会委員、セッション座長、若手の会代表者  
(審査できない場合には代理者の審査を可とする)

審査基準・方法：

- 1) 審査員が総合的に判断する(特に評価基準は設けない)
- 2) 審査員は優秀なポスターを選び、講演番号を投票用紙に記入する(5つ以内)
- 3) ポスター発表終了後に、得票数を単純に合計し、上位10%程度を選ぶ。

表彰方法：懇親会の席上で受賞ポスターを発表し、会長より優秀ポスター賞を授与する。本人が欠席の場合は、代理の者が賞状等を受領する。

公表方法：学会ニュース及び学会誌の年会特集号で報告する。

本年より優秀プレゼンテーション賞は廃止いたします。

優秀プレゼンテーション賞は、研究発表会を活性化し、参加意欲の向上を図るために平成8年(第7回研究発表会)から設けられました。「発表の分かりやすさ、OHPの見やすさ・簡潔さ、発表時間配分の適切さ及び質疑応答の適切さ」を審査基準として、昨年までの6年間に計98名が表彰されました。近年におきましては、講演者の方々のプレゼンテーション技術が向上し、当初の目的は十分果たされたと考えられますので、本年より優秀プレゼンテーション賞を廃止いたします。

# MEMO



参加案内は廃棄物学会ホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.jswme.gr.jp>

# MEMO



SINCE 1990

参加案内は廃棄物学会ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.jswme.gr.jp>

# MEMO

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



参加案内は廃棄物学会ホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.jswme.gr.jp>

## 第 13 回研究発表会参加申込書（当日受付用）

参加者氏名				
勤務先名	連絡先電話番号： ( )			
会員資格 (会員番号を記入)	正会員	公益会員	賛助会員	学生会員 No.
勤務先種別 必ず該当する ものをで困 って下さい。	(1) 大学・高専 (2) 国(省庁・研究機関) (3) 地方(都道府県・市町村・組合等・研究機関) (4) 公社・社団・財団 (5) 各種民間団体 (6) 一般市民 (7) 民間企業(廃棄物関連メーカー、エンジニアリング・建設会社・ コンサルタント・処理、メンテナンス・その他)			
所在地	都道府県のみご記入下さい		都・道・府・県	
事務局記入欄	No.	¥ 7,500	¥ 4,000	¥ 12,000

( 必要事項を記入の上、切り取って当日会場にお持ち下さい。 )

